

システム管理者ガイド

目次

商標	4
----------	---

マニュアルの見方	5
----------------	---

マークの意味	5
掲載画面	5
OS表記	5
ご注意	6

はじめに	7
------------	---

SSL/TLS通信	7
利用するプロトコルの制御	7
IP通信の暗号化と認証ネットワークへの接続	8
スキャンやファクスの宛先設定	8
利用者制限と管理者パスワード	9

ネットワーク設定するソフトウェア	10
------------------------	----

Web Configの概要	10
Web Configの起動	11
EpsonNet Configの概要	12
EpsonNet Configの使用 - Windows	13
EpsonNet Configのインストール - Windows ...	13
EpsonNet Configの起動 - Windows	13
EpsonNet Configのアンインストール - Windows	13
EpsonNet Configの使用 - Mac OS X	13
EpsonNet Configのインストール - Mac OS X	13
EpsonNet Configの起動 - Mac OS X	13
EpsonNet Configのアンインストール - Mac OS X	13
Web ConfigとEpsonNet Configの機能差	14
その他のネットワーク関連ソフトウェア	15
EpsonNet Print (Windowsのみ)	15
EpsonNet SetupManager	15

セキュアなネットワークでプリンターを使う	16
----------------------------	----

SSL/TLS通信を設定する	16
SSL/TLS通信の基本設定をする	16
プリンターのサーバー証明書を設定する	17
利用するプロトコルやサービスを制御する	18
プロトコルを制御する	18
利用するサービスを制御する	19
IPsec/IPフィルタリングを設定する	19
IPsec/IPフィルタリングの概要	19
基本ポリシーを設定する	20
個別ポリシーを設定する	21
IPsec/IPフィルタリングの設定例	26
IPsec/IPフィルタリングで使用する証明書を設定する	26
SNMPv3プロトコルを利用する	27
SNMPv3を設定する	27
IEEE802.1X環境にプリンターを接続する	29
IEEE802.1Xを設定する	29
IEEE802.1Xで使用する証明書を設定する	31
プリンターのIEEE802.1X状態表示	32
電子証明書を使う	32
プリンターで利用できる電子証明書	32
CA署名証明書の取得とインポート	33
CA署名証明書を削除する	36
自己署名証明書を更新する	37

スキャンやファクスの宛先を設定する	39
-------------------------	----

宛先設定の概要	39
アドレス帳を設定する	39
設定ツールによる宛先設定機能差	39
宛先を登録する	40
宛先をグループに登録する	41
LDAPサーバーを利用する	42
LDAPサーバーを設定する	43
LDAPサーバーの検索属性を設定する	44
LDAPサーバーとの接続を確認する	46
メールサーバーを利用する	47
メールサーバーを設定する	47
メールサーバーとの接続を確認する	48

利用者制限と管理者パスワードを設定する50

利用者制限の概要	50
利用制限を設定する	50
管理者パスワードを設定する	52

トラブルを解決する54

トラブルを解決するための情報	54
ソフトウェア使用時のトラブル	54
Web Configにアクセスできない	54
EpsonNet Configで製品名やIPアドレスが表示されない	55
セキュア環境への接続時のトラブル	55
事前共有キーを忘れてしまった	55
IPsec通信ができない	55
突然通信ができなくなった	56
セキュアIPP印刷のポートが作成できない	57
IEEE802.1Xを設定したのにつながらない	57
電子証明書使用時のトラブル	57
CA署名証明書のインポートができない	57
自己署名証明書が更新できない	58
CSRが作成できない	58
証明書に関する警告が表示された	58
CA署名証明書を誤って削除した	60
印刷時のトラブル	60
AirPrintで印刷できない	60
意味不明の文字が大量に印刷された	61

付録62

イベント発生時にメール通知を受け取る	62
メール通知の概要	62
メール通知を設定する	62
個別にプリンターのネットワーク設定をする ...	63
ネットワークインターフェイスを設定する - 有線LAN	63
ネットワークインターフェイスを設定する - 無線LAN	64
プリンターを接続するコンピュータの設定 ...	66
プリンタードライバをインストールする - Windows	66
プリンタードライバをインストールする - Mac OS X	67
スキャナーをネットワークで使う	67

外部メモリーをネットワークドライブとして共有する	69
プリンターの共有設定をする - Windows	70
プリンターを共有する	70
追加ドライバをインストールする	70
共有プリンターを使う	71
共有プリンターを使う - Windows	71
共有プリンターを使う - Mac OS X	71

商標

- EPSONおよびEXCEED YOUR VISIONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- Mac OS、OS X、Bonjour、Safariは米国およびその他の国で登録されたApple Inc.の商標です。AirPrint は、Apple Inc.の商標です。
- その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

© 2013 Seiko Epson Corporation.

マニュアルの見方

マークの意味

△ 注意 この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

！重要 必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を見逃して誤った取り扱いをすると、本製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。

参考 補足情報や参考情報を記載しています。

➡ 関連情報

関連したページにジャンプします。

掲載画面

- 画面やイラストの詳細はお使いのプリンターとは異なることがありますが、操作方法は同じです。
- 画面はWindows 7での表示画面を使用しています。OSやバージョンにより異なることがあります。
- 機種や設定状況により画面の設定項目は異なることがあります。

OS表記

Windows

本書では、以下のOS（オペレーティングシステム）をそれぞれ「Windows 8.1」「Windows 8」「Windows 7」「Windows Vista」「Windows XP」「Windows Server 2012 R2」「Windows Server 2012」「Windows Server 2008 R2」「Windows Server 2008」「Windows Server 2003 R2」「Windows Server 2003」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 7 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2012 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版

- Microsoft® Windows Server® 2003 R2 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版

Mac OS X

本書ではOS X Mavericksを「Mac OS X v10.9.x」、OS X Mountain Lionを「Mac OS X v10.8.x」と表記しています。また、「Mac OS X v10.9.x」「Mac OS X v10.8.x」「Mac OS X v10.7.x」「Mac OS X v10.6.x」「Mac OS X v10.5.8」の総称として「Mac OS X」を使用しています。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気づきの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適當に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

はじめに

本書はエプソン製ネットワーク対応インクジェットプリンターまたは複合機用の、ネットワークシステム管理者向けマニュアルです。システム管理者とは、機器の環境設定やクライアント管理、ネットワークプリンターやコンピューターへのアクセス権の付与などを行う権限を持つ人を指します。システム管理者が設定する内容を扱うため、詳しい操作手順や用語の解説などはありません。ネットワークやコンピューターに関する知識がある前提で説明しています。

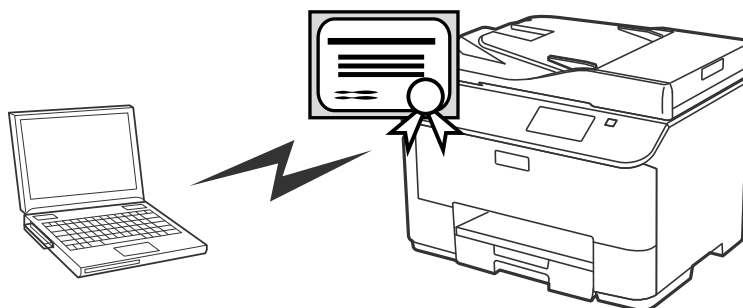
プリンターの高度なネットワーク設定をするためのソフトウェアには、Web ConfigとEpsonNet Configがあります。本書ではWeb Configでの設定手順を案内しています。EpsonNet Configでの操作方法はEpsonNet Configのヘルプやマニュアルをご覧ください。掲載しているOSのメニュー項目は、Windows 7またはMac OS X v10.8.xの表示に準拠しています。

参考 システム管理の機能を設定する前に、プリンターのネットワーク設定を行ってください。ネットワーク設定の詳細は、プリンターのマニュアルまたは本書の付録をご覧ください。

以下のシステム管理機能はエプソンの製品としてサポートしているものです。お使いのプリンターによっては対応していない機能があります。対応しているかどうかはプリンターのマニュアルをご覧ください。また、お使いのネットワーク環境に合わせて使用する機能を決めてください。

SSL/TLS通信

SSL/TLS (Secure Sockets Layer/Transport Layer Security) 通信でプリンターにサーバー証明書を設定して、コンピューターとの通信経路を暗号化できます。なりすましや不正アクセスを防ぎたいときに設定してください。



関連情報

➔ [「SSL/TLS通信を設定する」16ページ](#)

利用するプロトコルの制御

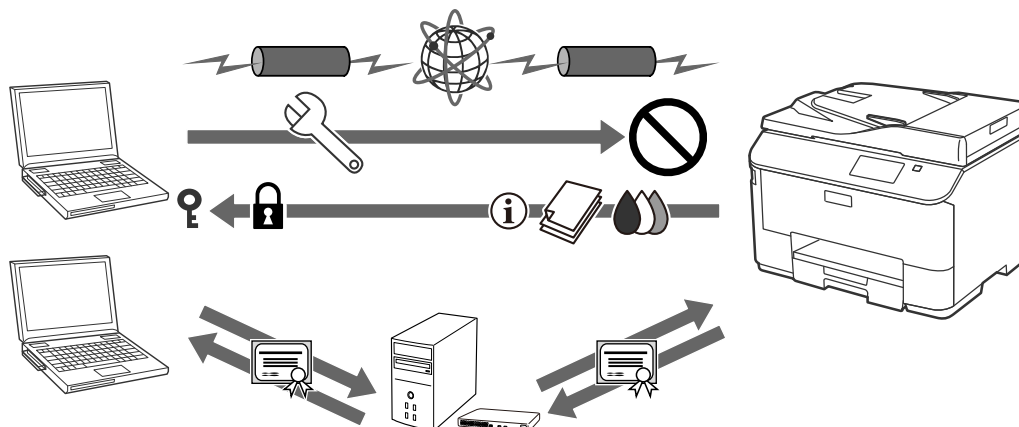
複合機は、印刷、スキャン、PC-FAX送信時にさまざまなプロトコルで通信します。各プロトコルに個別に許可・禁止を設定してプロトコルを制御することで、意図されない利用によるセキュリティリスクを未然に防げます。

関連情報

➔ [「利用するプロトコルやサービスを制御する」18ページ](#)

IP通信の暗号化と認証ネットワークへの接続

プリンターとの通信を暗号化したり、アクセスを制限したりします。通信の傍受やデータの改ざんを防ぎたいときは [IPsec/IPフィルタリング] やSNMPv3プロトコルを設定します。プリンターへのアクセスを認証したいときはIEEE802.1Xを使います。

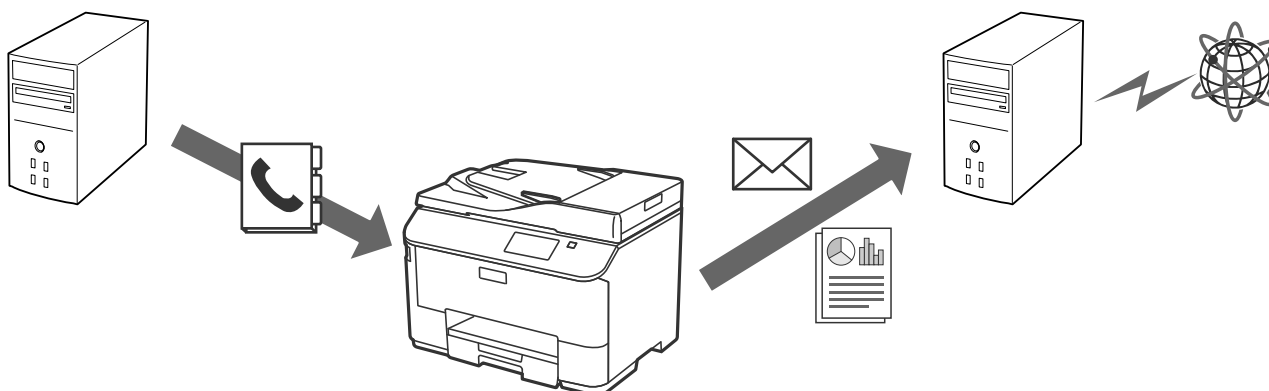


関連情報

- ➔ [「IPsec/IPフィルタリングを設定する」 19ページ](#)
- ➔ [「SNMPv3プロトコルを利用する」 27ページ](#)
- ➔ [「IEEE802.1X環境にプリンターを接続する」 29ページ](#)

スキャンやファクスの宛先設定

スキャンやファクスの宛先に、LDAPサーバーの情報を利用できます。スキャンデータや受信ファクスをメールで送信したいときや、ファクスの誤送信を防ぎたいときにメールサーバーやLDAPサーバーを設定します。



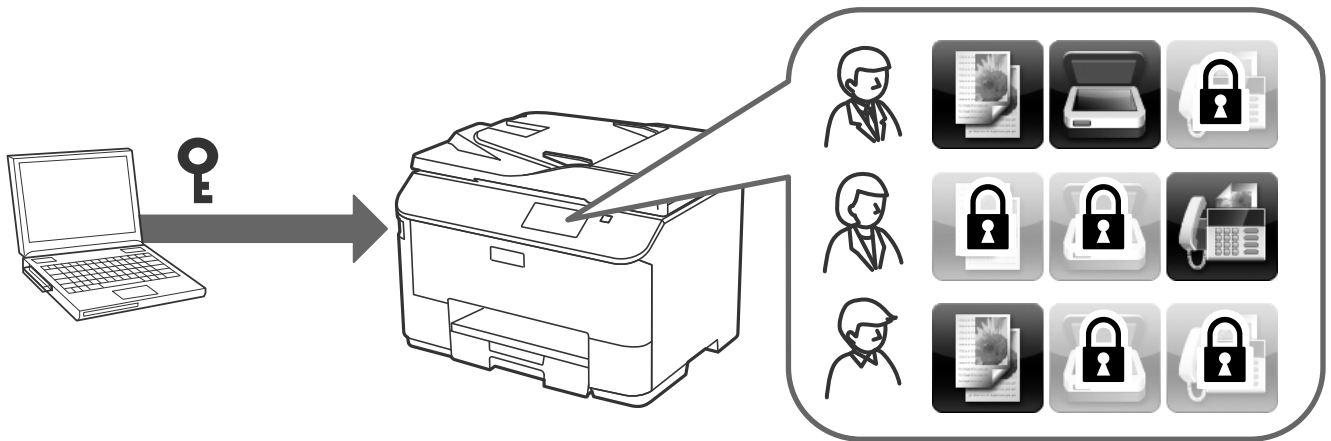
関連情報

- ➔ [「LDAPサーバーを利用する」 42ページ](#)
- ➔ [「メールサーバーを利用する」 47ページ](#)

利用者制限と管理者パスワード

プリンターの機能を利用者ごとに制限できます。ある人（グループ）はコピーとスキャン機能、またある人（グループ）はコピーのみ利用できるように設定できます。

管理者パスワードを設定すると、プリンターの設定の変更が管理者にしかできなくます。セキュリティ強化のため、管理者パスワードの設定をお勧めします。



関連情報

- ➡ [「利用者制限の概要」 50ページ](#)
- ➡ [「管理者パスワードを設定する」 52ページ](#)

ネットワーク設定するソフトウェア

Web Configの概要

Web Configはプリンターの設定確認や変更がブラウザ上でできるアプリケーションソフトです。
Web Configを使用するには、予めプリンターにIPアドレスを設定しておく必要があります。

参考 プリンターに管理者パスワードを設定すると、管理者以外が設定を変更できないようにロックできます。

以下の設定ページがあります。

- [基本設定]
プリンターの基本機能の設定ができます。



- [詳細設定]
プリンターの詳細設定ができます。主に管理者が使用するページです。



関連情報

- ➔ [「Web ConfigとEpsonNet Configの機能差」 14ページ](#)

Web Configの起動

ネットワーク上のコンピューターやデバイスからブラウザを起動して、プリンターのIPアドレスを入力します。ブラウザのJavaScriptを有効にしてください。なお、HTTPSアクセス時にプリンターが所有する自己署名証明書を使用するため、Web Configを起動するとブラウザに警告が表示されます。

- HTTPアクセス
IPv4 : <http://<プリンターのIPアドレス>> (<>は除く)
IPv6 : [http://\[プリンターのIPアドレス\]](http://[プリンターのIPアドレス]) ([]を含む)
- HTTPSアクセス
IPv4 : <https://<プリンターのIPアドレス>> (<>は除く)
IPv6 : [https://\[プリンターのIPアドレス\]](https://[プリンターのIPアドレス]) ([]を含む)

参考

- 記入例
IPv4:
http://192.168.100.201/
https://192.168.100.201/
IPv6:
http://[2001:db8::1000:1]/
https://[2001:db8::1000:1]/
- DNSにプリンター名を登録すると、IPアドレスの代わりにプリンター名が使用できます。
- HTTPで起動したWeb Configでは一部のメニューしか表示されません。HTTPSで起動すると全てのメニューが表示されます。
- EpsonNet ConfigからもWeb Configが起動できます。リスト画面でプリンターを選択して【ブラウザーの起動】をクリックしてください。

関連情報

- ➡ [「Web ConfigとEpsonNet Configの機能差」 14ページ](#)
- ➡ [「SSL/TLS通信を設定する」 16ページ](#)
- ➡ [「電子証明書を使う」 32ページ](#)

EpsonNet Configの概要

EpsonNet Configは、IPアドレスのアサインや接続形態の変更などプリンターのネットワーク設定ができるアプリケーションソフトです。Windows版はバッチファイルを使用して複数台のプリンターを同時に設定できます。詳細はEpsonNet Configのヘルプやマニュアルをご覧ください。



関連情報

- ➡ [「Web ConfigとEpsonNet Configの機能差」 14ページ](#)

EpsonNet Configの使用 - Windows


EpsonNet Configのインストール - Windows

プリンターに付属のソフトウェアディスクをセットし、以下のフォルダーにあるインストーラーを起動して画面の指示に従ってインストールしてください。

¥Network¥EpsonNetConfig

EpsonNet Configの起動 - Windows

〔すべてのプログラム〕－〔EpsonNet〕－〔EpsonNet Config Vxx〕から〔EpsonNet Config〕を選択します。

 **参考** Windowsファイアウォールの警告画面が表示された場合は、EpsonNet Configを例外のプログラムに登録してください。

関連情報

➔ [「Web ConfigとEpsonNet Configの機能差」 14ページ](#)

EpsonNet Configのアンインストール - Windows

〔コントロールパネル〕－〔プログラム〕－〔プログラムと機能〕－〔プログラムのアンインストール〕から〔EpsonNet Config Vxx〕を選択し、〔アンインストール〕をクリックしてください。

EpsonNet Configの使用 - Mac OS X

EpsonNet Configのインストール - Mac OS X

EPSON Software Updaterからダウンロードして、画面に従ってインストールしてください。

EpsonNet Configの起動 - Mac OS X

〔移動〕－〔アプリケーション〕－〔Epson Software〕－〔EpsonNet〕－〔EpsonNet Config Vxx〕から〔EpsonNet Config〕を選択します。

関連情報

➔ [「Web ConfigとEpsonNet Configの機能差」 14ページ](#)

EpsonNet Configのアンインストール - Mac OS X

Uninstallerを使います。UninstallerはEPSON Software Updater、またはエプソンのホームページからダウンロードしてください。

Uninstallerを起動すると、インストールされているエプソン製アプリケーションソフトが一覧表示されます。EpsonNet Configを選択し、画面の指示に従ってアンインストールしてください。

参考 Uninstallerがない場合は、【アプリケーション】フォルダーにあるプログラムフォルダーをゴミ箱にドラッグ&ドロップしてください。

Web ConfigとEpsonNet Configの機能差

プリンターのネットワークインターフェイス設定や情報を表示するソフトウェアには、Web ConfigとEpsonNet Configがあります。

以下は、本書で説明している機能と両ソフトウェアの機能の比較です。

機能	Web Config	EpsonNet Config
SSL/TLS通信の設定	○	○
プリンターのサーバー証明書の設定	○	○
IPsec/IPフィルタリングの設定	○	○
SNMPv3の設定	○	×
IEEE802.1X(有線LAN/無線LAN) の設定	○	○
CA署名証明書の取得とインポート	○	×
自己署名証明書の更新	○	×
アドレス帳へ宛先の登録	○	○
LDAPサーバーの設定	○	○
メールサーバーの設定	○	○
利用者制限の設定	○	○
管理者パスワードの設定	○	○
メール通知の設定	○	×
複数のデバイスへの一括設定	×	○ (Windowsのみ)
アドレス帳や設定のインポートとエクスポート	×	○

関連情報

- ➡ [「Web Configの概要」 10ページ](#)
- ➡ [「Web Configの起動」 11ページ](#)
- ➡ [「EpsonNet Configの概要」 12ページ](#)
- ➡ [「EpsonNet Configの起動 - Windows」 13ページ](#)
- ➡ [「EpsonNet Configの起動 - Mac OS X」 13ページ](#)

- ➔ [「SSL/TLS通信の基本設定をする」 16ページ](#)
- ➔ [「プリンターのサーバー証明書を設定する」 17ページ](#)
- ➔ [「IPsec/IPフィルタリングを設定する」 19ページ](#)
- ➔ [「SNMPv3プロトコルを利用する」 27ページ](#)
- ➔ [「IEEE802.1X環境にプリンターを接続する」 29ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書の取得とインポート」 33ページ](#)
- ➔ [「自己署名証明書を更新する」 37ページ](#)
- ➔ [「宛先を登録する」 40ページ](#)
- ➔ [「LDAPサーバーを利用する」 42ページ](#)
- ➔ [「メールサーバーを利用する」 47ページ](#)
- ➔ [「利用者制限の概要」 50ページ](#)
- ➔ [「管理者パスワードを設定する」 52ページ](#)
- ➔ [「メール通知を設定する」 62ページ](#)

その他のネットワーク関連ソフトウェア

EpsonNet Print (Windowsのみ)

TCP/IP上でネットワーク印刷するためのソフトウェアです。以下のような機能や制限があります。詳細はエプソンのホームページをご覧ください。

- スプーラー画面にプリンターのステータスが表示できます。
- DHCP機能によって変更されたIPアドレスを自動追従します。
- ルーターを越えた場所（別セグメント）のプリンターも使用できます。
- 印刷データの送信プロトコル（LPD/Epson 拡張LPD/RAW）が使い分けられます。
- IPv6アドレスには対応していません。

関連情報

- ➔ [「ネットワークインターフェイスを設定する - 有線LAN」 63ページ](#)
- ➔ [「ネットワークインターフェイスを設定する - 無線LAN」 64ページ](#)
- ➔ [「プリンタードライバーをインストールする - Windows」 66ページ](#)

EpsonNet SetupManager

ネットワークプリンターのドライバーやEPSONプリンターウィンドウ！3のインストールから印刷ポートの設定までを自動で実行するパッケージを作成するソフトウェアです。

印刷環境の異なるプリンタードライバーのパッケージを一括して作成できるため、プリンタードライバーの配布やインストール、設定など管理者が行う印刷環境構築作業を大幅に軽減できます。

詳細はエプソンのホームページをご覧ください。

セキュアなネットワークでプリンターを使う

エプソン製プリンターが対応しているセキュリティー機能を説明します。お使いのプリンターによっては対応していない機能があります。対応しているかどうかはプリンターのマニュアルで確認してください。

SSL/TLS通信を設定する

SSL/TLS通信の基本設定をする

HTTPSサーバーに対応しているプリンターはSSL/TLSで通信できます。Web Configを使ったプリンターの設定や管理のための通信を安全に行えます。

基本設定では暗号強度とリダイレクト機能を設定します。

1. Web Configで「ネットワークのセキュリティー設定」－「SSL/TLS」－「基本」を選択します。
2. 各項目を設定します。
 - 「暗号強度」
以下のいずれかを選択します。
 - 「高い」：AES256/3DES
 - 「標準」：AES256/3DES/AES128/RC4
 - 「HTTPをHTTPSにリダイレクト」
HTTPでのアクセス時に、HTTPSへのリダイレクトを行います。



3. 「次へ」をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 「設定」をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

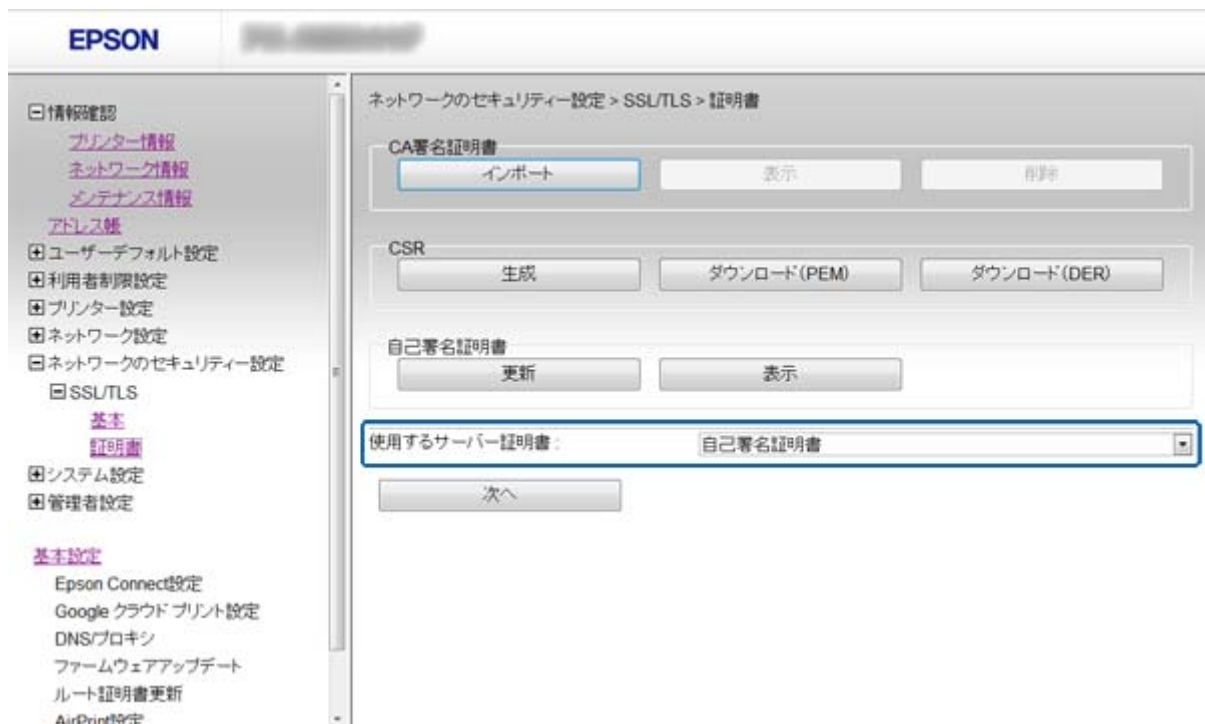
➡ [「Web Configの起動」 11ページ](#)

プリンターのサーバー証明書を設定する

1. Web Configで「ネットワークのセキュリティ設定」－「SSL/TLS」－「証明書」を選択します。

2. 「使用するサーバー証明書」に使用する電子証明書を選択します。

- 「自己署名証明書」
プリンターに内蔵されている自己署名証明書です。CA署名証明書を取得していない場合は選択してください。
- 「CA署名証明書」
プリンターにCA署名証明書をインポートすると選択できます。



3. 「次へ」をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 「設定」をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 11ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書の取得とインポート」 33ページ](#)

利用するプロトコルやサービスを制御する

プリンターに印刷する場合、いろいろな経路やプロトコルから印刷できます。また、複合機であればネットワークスキャン機能やPC-FAX機能を使ってネットワーク接続された不特定多数のコンピューターから利用が可能になります。例えば、印刷の特定の経路からの印刷を禁止したり、利用できる機能自体を禁止・許可の制御をすることで意図しないセキュリティリスクを軽減させることができます。

プロトコルを制御する

プリンターが対応している制御可能なプロトコルの設定をします。

1. Web Configで [ネットワーク設定] - [利用サービス] - [プロトコル] を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. [次へ] をクリックします。
4. [設定] をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

有効・無効が設定可能なプロトコル

プロトコル	説明
Bonjour	Bonjourを使用するか指定できます。Bonjourは機器の検索や印刷 (AirPrint) などに使われます。
SLP	SLP機能の有効・無効が設定できます。SLPはエプソンプリンターではブッシュスキャン機能やEpsonNet Configでのネットワーク探索に使われます。
WSD	WSD機能の有効・無効を設定できます。WSDデバイスの追加やWSDポートからの印刷、スキャンができるようになります。
LLTD	LLTDの有効・無効が設定できます。有効にするとWindowsのネットワークマップに表示されるようになります。
LLMNR	LLMNRの有効・無効が設定できます。有効にするとDNSが使えない状況でもNetBIOSを使用せずに名前解決ができるようになります。
LPR	LPR印刷を許可するかを指定できます。有効にするとLPRポートからの印刷ができるようになります。
RAW (Port9100)	RAWポート (Port9100) からの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとRAW (Port9100) からの印刷ができるようになります。
IPP	IPPからの印刷を許可するかを指定できます。有効にするとインターネット経由の印刷 (AirPrintを含む) ができるようになります。

プロトコル	説明
FTP	FTP印刷を許可するかを指定できます。有効にするとFTPサーバー経由での印刷ができるようになります。
SNMPv1/v2c	SNMPv1/v2cの有効・無効を指定できます。SNMPv1/v2cはエプソンプリンターでは機器の設定や監視などに使われます。

利用するサービスを制御する

ネットワークファイル共有やネットワークスキャンなどのサービスの有効・無効を設定します。

1. Web Configで【ネットワーク設定】 - 【利用サービス】を選択します。
2. 設定するメニューを選択し、有効・無効を設定します。
設定できるメニューはプリンターによって異なります。
3. 【次へ】をクリックします。
4. 【設定】をクリックします。

有効・無効が設定可能なサービス

サービス	説明
MS Network	ネットワークファイル共有設定の有効・無効が指定できます。有効にするとプリンターの外部メモリーなどがネットワーク接続しているコンピューターからフォルダーとして見えるようになります。
ネットワークスキャン	ネットワークスキャンを使用するかを指定できます。有効にするとネットワーク接続しているコンピューターからスキャナーが利用できます。
PC-FAX	PC-FAX送信機能を使用するか指定できます。有効にするとネットワーク接続しているコンピューターからファクスを送信できるようになります。
Wi-Fi Direct	Wi-Fi Direct機能の有効・無効が指定できます。有効にすると機器からのWi-Fi Direct接続ができるようになります。

IPsec/IPフィルタリングを設定する

IPsec/IPフィルタリングの概要

IPsec/IPフィルタリング機能を搭載したプリンターでは、IPアドレス、サービスの種類、受信や送信ポートなどをフィルタリングできます。これらを組み合わせることによって、特定のクライアントからのデータや特定の種類のデータを通過させたり、遮断したりできます。IPsecと組み合わせることによってさらに強固なセキュリティー通信ができます。フィルタリングのために基本ポリシーを設定します。基本ポリシーはプリンターにアクセスする全てのクライアントに影響します。より細かくアクセスを制御するには、個別ポリシーを設定します。個別ポリシーは、プリンターへの各アクセスに適用されるルールです。IPパケットを受け取ったプリンターはポリシーを参照し、IPパケットを制御します。ポリシーは、個別ポリシー1、個別ポリシー2と順に適用され、最後に基本ポリシーが適用されます。

参考 Windows Vista以降またはWindows Server 2008以降のWindowsは、IPsecに対応しています。

基本ポリシーを設定する

1. Web Configで「ネットワークのセキュリティー設定」－「IPsec/IPフィルタリング」－「基本」を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. 「次へ」をクリックします。
確認画面が表示されます。
4. 「設定」をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➔ 「Web Configの起動」 11ページ
- ➔ 「基本ポリシーの設定項目」 20ページ

基本ポリシーの設定項目

EPSON

ネットワークのセキュリティー設定 > IPsec/IPフィルタリング > 基本

ポリシー適用の優先順位
個別ポリシー1 > 個別ポリシー2 > ... 個別ポリシー10 > デフォルトポリシー

基本ポリシー 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

IPsec/IPフィルタリング: ☒ 有効 ☐ 無効

デフォルトポリシー

通信処理: 通信を通過

認証方式: 事前共有キー

事前共有キー: **

事前共有キー確認入力: **

カプセル化: トランスポートモード

リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード):

セキュリティープロトコル: ESP

次へ

アイテム	設定値と説明
IPsec/IPフィルタリング	IPsec/IPフィルタリング機能を有効または無効にします。

セキュアなネットワークでプリンターを使う

アイテム	設定値と説明	
通信処理	IPパケット通信の制御方法を設定します。	
	通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
	通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
	IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。
認証方式	CA署名証明書をインポートすると「証明書」が選択できるようになります。	
事前共有キー	「認証方式」で「事前共有キー」を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーが設定できます。	
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。	
カプセル化	「通信処理」で「IPsecの使用」を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。	
	トランスポートモード	主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
	トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。
リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)	「カプセル化」で「トンネルモード」を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。	
セキュリティープロトコル	「通信処理」で「IPsecの使用」を選択した場合、IPsecのセキュリティープロトコルを選択します。	
	ESP	認証とデータの完全性の確保に加えてデータ全体を暗号化したいときに選択します。
	AH	認証とデータの完全性を確保するために選択します。データは暗号化しないので、データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

関連情報

➡ [「基本ポリシーを設定する」20ページ](#)

個別ポリシーを設定する

1. Web Configで「ネットワークのセキュリティー設定」－「IPsec/IPフィルタリング」－「基本」を選択します。
2. 設定したい番号のタブをクリックします。
3. 各項目を設定します。

4. 「次へ」をクリックします。

確認画面が表示されます。

5. 「設定」をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ 「Web Configの起動」 11ページ

➡ 「個別ポリシーの設定項目」 22ページ

個別ポリシーの設定項目

アイテム	設定値と説明	
この個別ポリシーを有効にする	選択している個別ポリシーを有効または無効にします。	
通信処理	IP通信の制御方法を設定します。	
	通信を通過	IPパケットの通過を許可するときに選択します。
	通信を遮断	IPパケットを遮断したいときに選択します。
	IPsecの使用	IPsecで送られたパケットの通過を許可するときに選択します。
ローカルアドレス（プリンター）	お使いの環境に合ったIPv4アドレスまたはIPv6アドレスを選択します。プリンターのIPアドレスの取得方法が自動の場合は、「自動取得したIPv4アドレスを使用する」が選択できます。	

セキュアなネットワークでプリンターを使う

アイテム	設定値と説明	
リモートアドレス（ホスト）	<p>通信を制御する機器のIPアドレスを入力します。IPアドレスは0～43文字以内で入力してください。何も入力しないと、全てのIPアドレスが制御の対象になります。</p> <p>参考 IPアドレスがDHCPや自動取得（IPv6）の場合、リースや有効期限切れで通信できなくなることがあります。固定のIPアドレスを設定してください。</p>	
ポート指定方法	ポートの指定方法を設定します。	
サービス名	[ポート指定方法] で [サービス名] を選択した場合に設定します。	
トランスポートプロトコル	[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択した場合に設定します。	
	全てのプロトコル	全てのプロトコルタイプを制御したい場合を選択します。
	TCP	ユニキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
	UDP	ブロードキャストやマルチキャストのデータを制御したい場合などに選択します。
	ICMPv4	pingコマンドを制御したい場合などに選択します。
ローカルポート	<p>[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択し、かつ [トランスポートプロトコル] で [TCP] か [UDP] を選択した場合は、受信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。</p> <p>設定例：20,80,119,5220</p> <p>何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。</p>	
リモートポート	<p>[ポート指定方法] で [ポート番号] を選択し、かつ [トランスポートプロトコル] で [TCP] か [UDP] を選択した場合は、送信パケットを制御するポート番号をカンマで区切って記述します。最大10個指定できます。</p> <p>設定例：25,80,143,5220</p> <p>何も記述しないと、全てのポートが制御の対象になります。</p>	
認証方式	[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合に設定します。この証明書は基本ポリシーで設定したCA署名証明書と共通です。	
事前共有キー	[認証方式] で [事前共有キー] を選択した場合、1～127文字以内で事前共有キーが設定できます。	
事前共有キー確認入力	確認のため、設定したキーをもう一度入力します。	
カプセル化	[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecの通信モードを設定します。	
	トランスポートモード	主に同じLAN内だけでプリンターとIPsec通信をする場合に選択します。IPパケットのレイヤー4以上のデータ部のみが暗号化されます。
	トンネルモード	主にIPsec-VPNのようなインターネットが有効なネットワークでプリンターを接続するときに選択します。IPパケットのヘッダーとデータが暗号化されます。
リモートゲートウェイアドレス(トンネルモード)	[カプセル化] で [トンネルモード] を選択した場合、1～39文字以内でゲートウェイアドレスを設定します。	

アイテム	設定値と説明	
セキュリティプロトコル	[通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、IPsecのセキュリティプロトコルを選択します。	
	ESP	認証とデータの完全性の保証に加えてデータ全体を暗号化します。
	AH	認証とデータの完全性の保証をします。データの暗号化が禁止されていてもIPsec通信ができます。

関連情報

- ➡ [「個別ポリシーを設定する」 21ページ](#)
- ➡ [「ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組合せ」 24ページ](#)
- ➡ [「個別ポリシーのサービス名一覧」 24ページ](#)

ローカルアドレス（プリンター）とリモートアドレス（ホスト）の組合せ

		ローカルアドレス（プリンター）の設定値		
		IPv4	IPv6*2	使用可能な全てのアドレス*3
リモートアドレス（ホスト）の設定値	IPv4*1	○	×	○
	IPv6*1*2	×	○	○
	空白	○	○	○

*1 [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合、範囲指定はできません。

*2 [通信処理] で [IPsecの使用] を選択した場合リンクローカルアドレス（fe80::）は選択できますが、個別ポリシーは無効になります。

*3 IPv6リンクローカルアドレスは除きます。

個別ポリシーのサービス名一覧

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
全て	-	-	-	全てのサービス
ENPC	UDP	3289	任意	EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、プリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンター探索
SNMP	UDP	161	任意	EpsonNet Configなどのアプリケーションソフト、エプソンのプリンタードライバー、スキャナードライバーからのプリンターMIB情報の取得と設定

セキュアなネットワークでプリンターを使う

サービス名	プロトコルタイプ	ローカルポート番号	リモートポート番号	制御できる機能
LPR	TCP	515	任意	LPRデータの転送
RAW (Port9100)	TCP	9100	任意	RAWデータの転送
IPP/IPPS	TCP	631	任意	AirPrint (IPP/IPPS印刷) のデータ転送
WSD	TCP	任意	5357	WSDの制御
WS-Discovery	UDP	3702	任意	WSDのプリンター探索
Network Scan	TCP	1865	任意	Document Capture Proからのスキャンデータの転送
Network Push Scan	TCP	任意	2968	Document Capture Proからのプッシュスキャン時のジョブ情報取得
Network Push Scan Discovery	UDP	2968	任意	Document Capture Proからのプッシュスキャン時のコンピューター探索
FTP データ (ローカル)	TCP	20	任意	FTPサーバー (FTP印刷のデータ転送)
FTP 制御 (ローカル)	TCP	21	任意	FTPサーバー (FTP印刷の制御)
FTP データ (リモート)	TCP	任意	20	FTPクライアント (スキャンデータまたは受信ファクスのFTP転送) ただし、制御できるのは20番のリモートポート番号を使用するFTPサーバーとのみ
FTP 制御 (リモート)	TCP	任意	21	FTPクライアント (スキャンデータや受信ファクスのFTP転送の制御)
CIFS (ローカル)*	TCP	445	任意	CIFSサーバー (ネットワークフォルダー共有)
CIFS (リモート)*	TCP	任意	445	CIFSサーバー (スキャンデータや受信ファクスのフォルダー転送)
HTTP (ローカル)	TCP	80	任意	HTTP(S)サーバー (Web ConfigやWSDのデータ転送)
HTTPS (ローカル)	TCP	443	任意	
HTTP (リモート)	TCP	任意	80	HTTP(S)クライアント (Epson ConnectやGoogle クラウド プリントの通信、ファームウェアアップデートやルート証明書の更新)
HTTPS (リモート)	TCP	任意	443	

*スキャンデータまたは受信ファクスのフォルダー転送機能、ネットワークフォルダー共有機能、PC-FAX受信機能を制御するときは
[ポート指定方法] を [サービス名] から [ポート番号] に変更し、CIFSとNetBIOSのポート番号を指定してください。

IPsec/IPフィルタリングの設定例

IPsecで保護されたパケットだけを受け付ける

個別ポリシーを設定しない場合は、基本ポリシーだけが使われます。

〔基本ポリシー〕：

- 〔IPsec/IPフィルタリング〕：〔有効〕
- 〔通信処理〕：〔IPsecの使用〕
- 〔認証方式〕：〔事前共有キー〕
- 〔事前共有キー〕：1～127文字以内の任意文字

〔個別ポリシー〕：

設定しない

印刷データとプリンター設定を受け付ける

指定したサービスからの印刷データとプリンター設定の通信を受け付ける場合の例です。

〔基本ポリシー〕：

- 〔IPsec/IPフィルタリング〕：〔有効〕
- 〔通信処理〕：〔通信を遮断〕

〔個別ポリシー〕：

- 〔この個別ポリシーを有効にする〕：チェックを入れる
- 〔通信処理〕：〔通信を通過〕
- 〔リモートアドレス（ホスト）〕：印刷クライアントのIPアドレス
- 〔ポート指定方法〕：〔サービス名〕
- 〔サービス名〕：〔ENPC〕、〔SNMP〕、〔HTTP（ローカル）〕、〔HTTPS（ローカル）〕、〔RAW（Port9100）〕にチェックを入れる

特定のIPアドレスからの通信のみ受け付ける


管理者など特定のコンピューターからの通信のみを受け付ける場合の例です。

〔基本ポリシー〕：

- 〔IPsec/IPフィルタリング〕：〔有効〕
- 〔通信処理〕：〔通信を遮断〕

〔個別ポリシー〕：

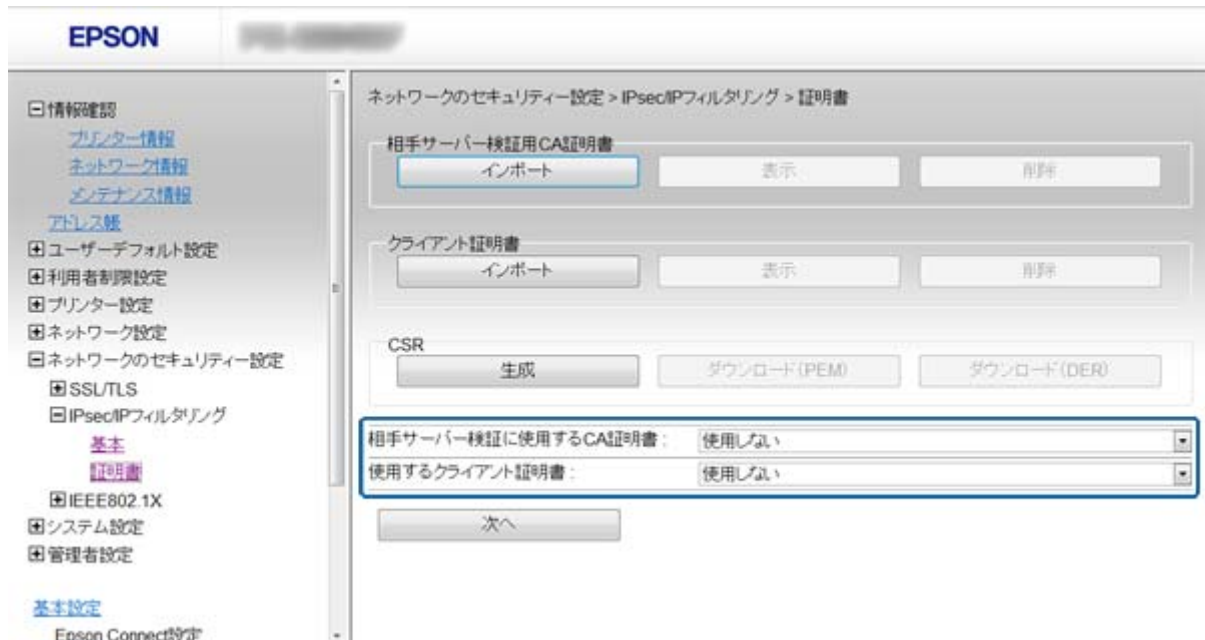
- 〔この個別ポリシーを有効にする〕：チェックを入れる
- 〔通信処理〕：〔通信を通過〕
- 〔リモートアドレス（ホスト）〕：管理者用クライアントのIPアドレス

 **参考** ポリシーの設定に関わらず、プリンターの検索や設定を行うためのプロトコルは使用できます。

IPsec/IPフィルタリングで使用する証明書を設定する

1. Web Configで〔ネットワークのセキュリティ設定〕－〔IPsec/IPフィルタリング〕－〔証明書〕を選択します。

2. 【相手サーバー検証に使用するCA証明書】に使用する電子証明書を選択します。
他の機能でインポートした証明書を設定することもできます。
3. 【使用するクライアント証明書】に使用する電子証明書を選択します。
他の機能でインポートした証明書を設定することもできます。



4. 【次へ】をクリックします。
確認画面が表示されます。
5. 【設定】をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 11ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書の取得とインポート」 33ページ](#)

SNMPv3プロトコルを利用する

SNMPv3を設定する

プリンターがSNMPv3プロトコルに対応している場合、プリンターへのアクセスを監視・制御できます。

1. Web Configで【ネットワーク設定】－【利用サービス】－【プロトコル】を選択します。
2. 【SNMPv3設定】の各項目を設定します。

3. 【次へ】をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 【設定】をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

- ➡ [「Web Configの起動」 11ページ](#)
- ➡ [「SNMPv3の設定項目」 28ページ](#)

SNMPv3の設定項目

アイテム	設定値と説明
SNMPv3を有効にする	チェックを入れるとSNMPv3が有効になります。
ユーザー名	1バイト文字を使って1～32文字以内で入力します。
認証設定	
アルゴリズム	認証用のアルゴリズムを選択します。
パスワード	ASCII (0x20-0x7E)で表せる8～32文字以内で入力します。
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。
暗号化設定	
アルゴリズム	暗号化用のアルゴリズムを選択します。
パスワード	ASCII (0x20-0x7E)で表せる8～32文字以内で入力します。
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。

アイテム	設定値と説明
コンテキスト名	1バイト文字を使って1～32字以内で入力します。

関連情報

➔ [「SNMPv3を設定する」 27ページ](#)

IEEE802.1X環境にプリンターを接続する

IEEE802.1Xを設定する

IEEE802.1Xに対応しているプリンターは、認証機能を持ったネットワーク（RADIUSサーバーと認証機能を持ったハブに接続されたネットワーク）環境に接続して使用できます。

1. Web Configで【ネットワークのセキュリティ設定】－【IEEE802.1X】－【基本】を選択します。

2. 各項目を設定します。

無線LANで使う場合は【無線LAN設定】をクリックしてSSIDを選択するか、入力してください。

 **参考** ここでの設定値は有線LANと無線LANで共通に使えます。

3. 【次へ】をクリックします。

確認画面が表示されます。

4. 【設定】をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 11ページ](#)

➔ [「IEEE802.1Xの設定項目」 30ページ](#)

➔ [「IEEE802.1Xを設定したのにつながらない」 57ページ](#)

IEEE802.1Xの設定項目

EPSON

ネットワークのセキュリティ設定 > IEEE802.1X > 基本

IEEE802.1X (有線LAN): ☒ 有効 ☐ 無効

IEEE802.1X (無線LAN): 無効

接続方法: 無線LAN

認証方式: PEAP/MSCHAPv2

ユーザーID:

パスワード:

パスワード確認入力:

サーバーID:

Anonymous名:

暗号強度: 標準

次へ 無線LAN設定

アイテム	設定値と説明	
IEEE802.1X (有線LAN)	[IEEE802.1X] - [基本] 画面で設定した値をIEEE802.1X (有線LAN) に対して有効または無効にするかを選択します。	
IEEE802.1X (無線LAN)	IEEE802.1X (無線LAN) の接続状態が表示されます。	
接続方法	現在のネットワーク接続方法が表示されます。	
認証方式	プリンターとRADIUSサーバーとの認証方式を設定します。	
	EAP-TLS	CA署名証明書を取得してインポートする必要があります。
	PEAP-TLS	
	PEAP/MSCHAPv2	パスワードを設定する必要があります。
ユーザーID	RADIUSサーバーの認証に使うIDを設定します。	
パスワード	プリンターを認証するためのパスワードを設定します。	
パスワード確認入力	確認のため、入力したパスワードをもう一度入力します。	
サーバーID	特定のRADIUSサーバーで認証したいときに使用します。設定した文字列が、RADIUSサーバーから送信されるサーバー証明書のsubjectフィールドまたはsubjectAltNameフィールドに含まれているかを検証します。	
Anonymous名	[認証方式] が [PEAP-TLS] または [PEAP/MSCHAPv2] の場合、PEAP認証のフェーズ1において、ユーザーIDの代わりに匿名を使用したいときに設定します。	

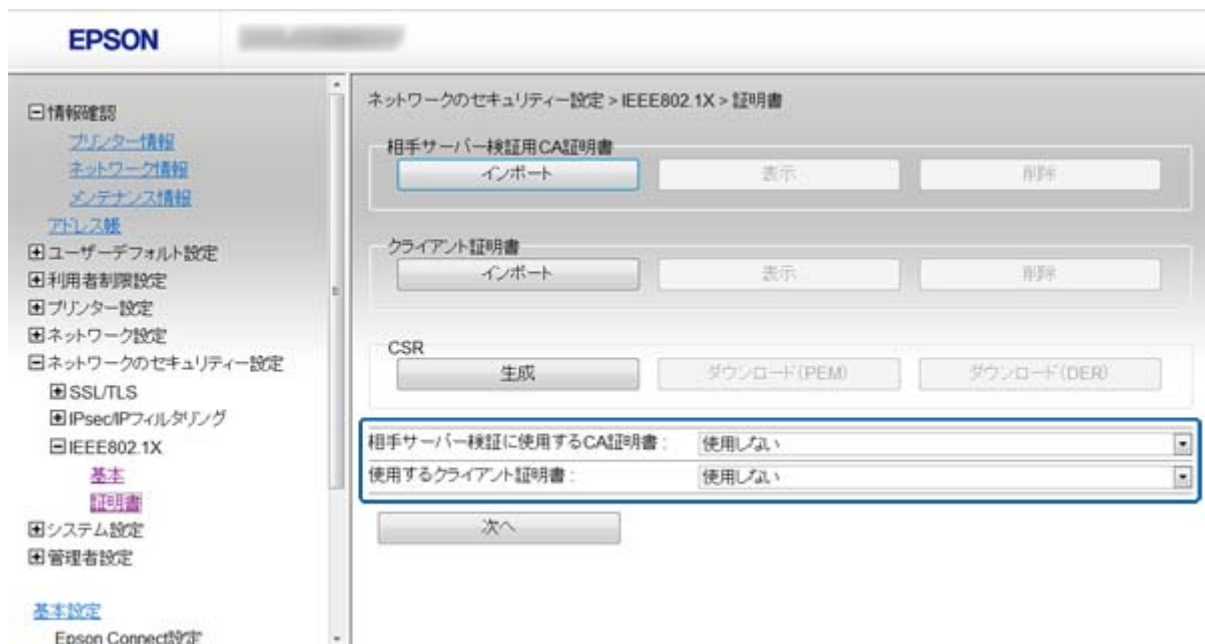
アイテム	設定値と説明	
暗号強度	以下のいずれかを選択します。	
	高い	AES256/3DES
	標準	AES256/3DES/AES128/RC4

関連情報

➡ [「IEEE802.1Xを設定する」 29ページ](#)

IEEE802.1Xで使用する証明書を設定する

- Web Configで「ネットワークのセキュリティ設定」－「IEEE802.1X」－「証明書」を選択します。
- 「相手サーバー検証に使用するCA証明書」に使用する電子証明書を選択します。
他の機能でインポートした証明書を設定することもできます。
- 「使用するクライアント証明書」に使用する電子証明書を選択します。
他の機能でインポートした証明書を設定することもできます。



- 「次へ」をクリックします。
確認画面が表示されます。
- 「設定」をクリックします。
設定がプリンターに反映されます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 11ページ](#)

➡ [「CA署名証明書の取得とインポート」 33ページ](#)

プリンターのIEEE802.1X状態表示

IEEE802.1Xの動作状態はネットワークステータスシートを印刷し、「IEEE802.1X」の項目で確認できます。ネットワークステータスシートの印刷方法はプリンターのマニュアルをご覧ください。

ステータス表示	IEEE802.1Xの動作状態
Disable	IEEE802.1X機能が無効になっています。
EAP Success	IEEE802.1X認証が成功し、ネットワークに接続されています。
Authenticating	IEEE802.1Xの認証中です。
Config Error	ユーザーIDが設定されていないため、認証に失敗しました。
Client Certificate Error	クライアント証明書の有効期限が切れているため、認証に失敗しました。
Timeout Error	RADIUSサーバーや認証ハブからの応答がないため、認証に失敗しました。
User ID Error	プリンターのユーザーIDまたは認証プロトコルに不備があるため、認証に失敗しました。
Server ID Error	サーバーの証明書に記載されているサーバーIDと通信しているサーバーIDが一致しないため、認証に失敗しました。
Server Certificate Error	サーバーの証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> 証明書の有効期限切れ 証明書のチェーンの異常
CA Certificate Error	CA証明書に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> CA証明書の指定が間違っている 正しいCA証明書がインポートされていない CA証明書の有効期限切れ
EAP Failure	プリンターの設定に以下の不備があるため、認証に失敗しました。 <ul style="list-style-type: none"> クライアント証明書に何らかの不備がある（【認証方式】が【EAP-TLS】または【PEAP-TLS】の場合） ユーザーIDまたはパスワードの間違い（【認証方式】が【PEAP/MSCHAPv2】の場合）

電子証明書を使う

プリンターで利用できる電子証明書

- CA署名証明書

認証機関（CA局）によって署名された証明書は、CA局に申請して発行してもらいます。信頼性のあるCA局の証明書を使用すると、データ通信の安全が確保できます。CA署名証明書は、取得した各セキュリティー機能だけでなく、他の機能でも使用できます。

- CA証明書
CA署名証明書のチェーンやチェーン内の証明書です。接続相手サーバーの検証に使用できます。相手サーバーの証明書を発行したCA局から入手します。
- 自己署名証明書
プリンターが自ら発行し、署名した証明書です。証明書としては信頼性がなく、なりすましは防げません。またSSL通信をすると、ブラウザからセキュリティ警告が出ることがあります。自己署名証明書はSSL通信のみで使用できます。

関連情報

- ➔ [「Web ConfigとEpsonNet Configの機能差」 14ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書の取得とインポート」 33ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書を削除する」 36ページ](#)
- ➔ [「自己署名証明書を更新する」 37ページ](#)

CA署名証明書の取得とインポート

CA署名証明書を取得する

CA署名証明書を取得するにはCSR（証明書発行要求）を生成し、CA局に申請します。CSRはプリンターのWeb Configかコンピューターで生成してください。

ここではWeb Configから取得する方法を説明します。Web Configで生成したCSRの証明書はPEM/DER形式です。

1. Web Configで **「ネットワークのセキュリティ設定」** – **「SSL/TLS」** または **「IPsec/IPフィルタリング」** または **「IEEE802.1X」** – **「証明書」** を選択します。

2. **「CSR」** の **「生成」** をクリックします。

CSR生成画面が開きます。

3. 各項目を設定します。



対応している公開鍵長や省略の可否はCA局によって異なる場合があります。申請するCA局のルールに従って記載してください。

4. **「設定」** をクリックします。

設定完了のメッセージが表示されます。

5. **「ネットワークのセキュリティ設定」** – **「SSL/TLS」** または **「IPsec/IPフィルタリング」** または **「IEEE802.1X」** – **「証明書」** を選択します。

6. CA局規定のファイル形式に従い **「CSR」** のダウンロードボタンをクリックして、CSRをコンピューターにダウンロードします。



再度CSRを生成しないでください。交付されたCA署名証明書がインポートできなくなります。

7. 保存したCSRをCA局に送付し、CA署名証明書を入手します。

送付方法や送付形態は、CA局の規定に従ってください。

8. 入手したCA署名証明書を、プリンターに接続しているコンピューターに保存します。

指定場所にCA署名証明書ファイルが保存されたら完了です。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 11ページ](#)
- ➔ [「CSRの設定項目」 34ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書をインポートする」 35ページ](#)

CSRの設定項目

アイテム	設定値と説明
公開鍵長	CSRに使用する公開鍵長を選択します。
コモンネーム	1～128文字以内で入力できます。IPアドレスを指定するときは、固定のIPアドレスを設定します。 設定例： Web ConfigにアクセスするURL：https://10.152.12.225 コモンネーム：10.152.12.225
組織名/ 部署名/ 市町村名/ 都道府県名	ASCII (0x20-0x7E)で表せる0～64文字以内で入力できます。ディスタングイッシュネーム（CN）はカンマで分割できます。
国コード	ISO-3166で規定している2文字の国コードを入力します。

関連情報

- ➔ [「CA署名証明書を取得する」 33ページ](#)

CA署名証明書をインポートする

！重要

- プリンターの日付と時刻が正しく設定されていることを確認してください。
- Web Configで生成したCSRで証明書を取得した場合、証明書をインポートできるのは一度だけです。

1. Web Configで[ネットワークのセキュリティ設定] – [SSL/TLS] または [IPsec/IPフィルタリング] または [IEEE802.1X] – [証明書] を選択します。

2. [インポート] をクリックします。

証明書インポート設定画面が開きます。

3. 各項目を設定します。

インポートの設定内容は、CSRの生成場所や証明書のファイル形式によって異なります。以下を参考にして入力が必要な項目を設定してください。

- Web Configから取得したPEM/DER形式の証明書
 - [秘密鍵] : プリンターで保持しているため設定しない
 - [パスワード] : 設定しない
 - [CA証明書1]、[CA証明書2] : 任意
- コンピューターから取得したPEM/DER形式の証明書
 - [秘密鍵] : 設定する
 - [パスワード] : 設定しない
 - [CA証明書1]、[CA証明書2] : 任意
- コンピューターから取得したPKCS#12形式の証明書
 - [秘密鍵] : 設定しない
 - [パスワード] : 任意
 - [CA証明書1]、[CA証明書2] : 設定しない

4. [設定] をクリックします。

インポートされると完了メッセージが表示されます。

参考

[表示] をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」 11ページ](#)
- ➔ [「CA署名証明書のインポート設定項目」 36ページ](#)

CA署名証明書のインポート設定項目

アイテム	設定値と説明
サーバー証明書	取得したCA署名証明書のファイル形式を選択し、ファイルを指定します。
秘密鍵	コンピューターで生成したCSRでPEM/DER形式の証明書を取得した場合、証明書と対になった秘密鍵ファイルを指定します。
パスワード	秘密鍵暗号化のためのパスワードを入力します。
CA証明書1	ファイル形式が「証明書 (PEM/DER)」の場合、サーバー証明書を発行したCA局の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。
CA証明書2	ファイル形式が「証明書 (PEM/DER)」の場合、「CA証明書1」を発行した機関の証明書をインポートします。必要に応じて設定してください。

関連情報

➔ [「CA署名証明書をインポートする」 35ページ](#)

CA署名証明書を削除する

サービスが無効になった証明書や使用していない証明書は削除できます。

！重要 Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。必要な場合はCSRを再生成して取得し直してください。

1. Web Configで「ネットワークのセキュリティー設定」－「SSL/TLS」または「IPsec/IPフィルタリング」または「IEEE802.1X」－「証明書」を選択します。

2. **【削除】** をクリックします。
確認メッセージが表示されます。
3. **【設定】** をクリックします。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」11ページ](#)

自己署名証明書を更新する

HTTPSサーバー機能を搭載しているプリンターは自己署名証明書の更新ができます。自己署名証明書を使用すると、Web Configの起動時に警告のメッセージが表示されます。
自己署名証明書は、CA署名証明書を取得しインポートするまでの期間中一時的に使用することをお勧めします。

1. Web Configで**【ネットワークのセキュリティ設定】** - **【SSL/TLS】** - **【証明書】** を選択します。
2. **【更新】** をクリックします。
3. **【コモンネーム】** を入力します。

プリンターにアクセスするIPアドレスやFQDN名などの識別子を入力します。1～128文字以内で入力できます。

参考 ディスティングイッシュネーム (CN) はカンマで分割できます。

4. 証明書の有効期間を選択します。

EPSON

ネットワークのセキュリティ設定 > SSL/TLS > 証明書

公開鍵長: 2048bit

コモンネーム:

組織名: SEIKO EPSON CORP.

有効期間開始日時 (UTC): 2013-06-20 19:45:00 UTC

有効期間 (年): 10

次へ 戻る

5. **【次へ】** をクリックします。

確認画面が表示されます。

6. **【設定】** をクリックします。

設定がプリンターに反映されます。



【表示】 をクリックするとインポートした証明書の情報が確認できます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」11ページ](#)

スキャンやファクスの宛先を設定する

宛先設定の概要

スキャンやファクスの宛先にプリンターのアドレス帳やLDAPサーバーの情報が利用できます。

- 参考**
- お使いのプリンターが対応しているかどうかは、プリンターのマニュアルをご覧ください。
 - プリンターのアドレス帳とLDAP検索は、プリンターの操作パネルで切り替えます。
 - メール送信機能を使うには、メールサーバーの設定が必要です。

関連情報

- ➔ [「アドレス帳を設定する」 39ページ](#)
- ➔ [「LDAPサーバーを利用する」 42ページ](#)
- ➔ [「メールサーバーを利用する」 47ページ](#)

アドレス帳を設定する

アドレス帳に登録できる宛先の種類は以下です。

- ［ファクス］：ファクスの宛先です。
- ［メール］：メールの宛先です。
- ［ネットワークフォルダー (SMB)］、［FTP］：スキャンデータやファクス転送ファイルの保存先です。

設定ツールによる宛先設定機能差

アドレス帳の宛先は、Web ConfigやEpsonNet Config、プリンターの操作パネルから設定できます。ただし、設定できる項目が異なります。

機能	Web Config	EpsonNet Config	操作パネル
宛先登録	○	○	○
宛先編集	○	○	○
グループ登録	○	○	○
グループ編集	○	○	○
宛先削除	○	○	○
宛先の一括削除	○	×	×
宛先やグループのコピー	×	○	×
ファイルのインポート	×	○	×
ファイルへエクスポート	×	○	×

参考

- EpsonNet Configではアドレス帳をインポートまたはエクスポートできます。詳細はEpsonNet Configのヘルプやマニュアルをご覧ください。
- ファクスの宛先はFAX Utilityからも設定できます。

宛先を登録する

1. Web Configで「アドレス帳」を選択します。
2. 登録したい番号の「登録」をクリックします。
3. 設定したい宛先の「種別」を選択します。

参考

登録後は「種別」を変更できません。登録後に種別の変更をしたい場合は、宛先を削除して再登録してください。

4. 「次へ」をクリックします。
5. 各項目を設定して、「適用」をクリックします。

関連情報

- ➔ [「Web Configの起動」11ページ](#)
- ➔ [「宛先の設定項目」40ページ](#)

宛先の設定項目

EPSON

アドレス帳

情報確認

プリンター情報

ネットワーク情報

メンテナンス情報

アドレス帳

ユーザーデフォルト設定

利用者制限設定

プリンター設定

ネットワーク設定

ネットワークのセキュリティ設定

システム設定

管理者設定

基本設定

Epson Connect設定

Google クラウド プリント設定

DNS/プロキシ

ファームウェアアップデート

ルート証明書更新

AirPrint設定

Wi-Fi Direct設定

プリンター情報確認

番号: 1

種別: ファクス

登録名:

検索名:

ファクス番号:

ファクス通信モード: ファクス通信設定に従う

適用 削除 戻る

スキャンやファックスの宛先を設定する

アイテム	設定値と説明
共通	
登録名	アドレス帳に表示する名称をUnicode (UTF-8) で表せる0～30文字以内で入力します。
検索名	検索に使われる名称をUnicode (UTF-8) で表せる0～30文字以内で入力します。
ファクス	
ファクス番号	0～9 - * # または半角スペースを使用し、1～64文字以内で入力します。
ファクス通信モード	宛先に応じたファクス通信速度を選択します。
メール	
メールアドレス	A～Z a～z 0～9 ! # \$ % & ' * + - . / = ? ^ _ { } ~ @を使用し、1～255文字以内で入力します。
ネットワークフォルダー (SMB)	
保存先	保存先フォルダーにする位置を" ¥¥" を除いて、Unicode (UTF-8) で表せる1～253文字以内で入力します。 ブラウザによっては、円マークがバックスラッシュで表示されることがあります。
ユーザー名	ネットワークフォルダーにアクセスするためのユーザー名をUnicode (UTF-8) で表せる0～30文字以内で入力します。
パスワード	ネットワークフォルダーにアクセスするためのパスワードをUnicode (UTF-8) で表せる0～20文字以内で入力します。
FTP	
保存先	ftp://"ホスト名"/"フォルダーパス" (ASCII (0X20-0X7E) で表せる1～253文字以内で入力します。ftp://は入力不要です。)
ユーザー名	FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名をUnicode (UTF-8) で表せる0～30文字以内で入力します。匿名による接続を認めているサーバーではFTPやAnonymousなどを入力します。
パスワード	FTPサーバーにアクセスするためのパスワードをUnicode (UTF-8) で表せる0～20文字以内で入力します。
接続モード	メニューから接続モードを選択します。プリンターとFTPの間にファイアウォールがある場合は、[パッシブモード] を選択します。
ポート番号	FTPサーバーのポート番号を1～65535以内の数字で入力します。

関連情報

➡ [「宛先を登録する」40ページ](#)

宛先をグループに登録する

種別が [ファクス] や [メール] の場合、複数の宛先をまとめてグループとして登録できます。

1. Web Configで「アドレス帳」を選択します。
2. 登録したい番号の「登録」をクリックします。
3. 「種別」から登録したいグループを選択します。
4. 「次へ」をクリックします。
登録できる宛先が一覧表示されます。
5. 「登録名」と「検索名」を入力します。
6. 一覧から登録したい宛先を選択します。

EPSON

アドレス帳

番号: 5

種別: ファクス(グループ)

登録名:

検索名:

	登録名	検索名	ファクス番号
<input type="checkbox"/> 1			
<input type="checkbox"/> 2			
<input checked="" type="checkbox"/> 3			
<input checked="" type="checkbox"/> 4			

適用 戻る

参考 宛先は、複数のグループに登録できます。

7. 「適用」をクリックします。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」11ページ](#)

LDAPサーバーを利用する

ファクスやメールの送信時に、LDAPサーバーにあるファクス番号やメールアドレスの情報が利用できます。予めLDAPサーバー情報への検索設定が必要です。

LDAPサーバーを設定する

1. Web Configで「ネットワーク設定」－「LDAPサーバー」－「基本」を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. 「設定」をクリックします。
設定結果が表示されます。

関連情報

- ➔ 「Web Configの起動」 11ページ
- ➔ 「LDAPサーバー設定項目」 43ページ

LDAPサーバー設定項目

アイテム	設定値と説明
接続設定	
LDAPサーバーを使用する	「使用する」または「使用しない」を選択します。
LDAPサーバーアドレス	LDAPサーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で1～255文字以内で指定します。FQDN形式ではUS-ASCII文字の数字とアルファベット、ハイフン（先頭と末尾以外）が使用できます。
LDAPサーバーポート番号	LDAPサーバーのポート番号を1～65535以内の数字で入力します。
検索タイムアウト（秒）	検索を開始してからタイムアウトするまでの時間（秒）を5～300の間で入力します。

アイテム	設定値と説明
認証方式	認証方式を選択します。
ユーザー名	Unicode (UTF-8)で表せる0～128文字以内でLDAPサーバーのユーザー名を入力します。制御文字 (0x00～0x1F, 0x7F) は使用できません。この項目は【認証方式】を【Anonymous認証】にすると無効になります。
パスワード	Unicode (UTF-8)で表せる0～128文字以内でLDAPサーバー認証のパスワードを入力します。制御文字 (0x00～0x1F, 0x7F) は使用できません。この項目は【認証方式】を【Anonymous認証】にすると無効になります。
Kerberos設定 【認証方式】で【Kerberos認証】を選択した場合、以下の設定をしてください。	
Kerberosサーバーアドレス	Kerberos認証サーバーのアドレスを入力します。IPv4、IPv6、FQDNのいずれかの形式で255文字以内で指定します。
Kerberosサーバーポート番号	Kerberosサーバーのポート番号を1～65535以内の数字で入力します。
Kerberosサーバーレルム(ドメイン)	Kerberos認証のレルムをASCII (0x20-0x7E)で表せる0～255文字以内で指定します。

関連情報

➡ [「LDAPサーバーを設定する」 43ページ](#)

LDAPサーバーの検索属性を設定する

1. Web Configで【ネットワーク設定】－【LDAPサーバー】－【検索設定】を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. 【設定】をクリックします。
設定結果が表示されます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 11ページ](#)

➡ [「LDAPサーバー検索設定項目」 45ページ](#)

LDAPサーバー検索設定項目

アイテム	設定値と説明
検索開始位置(DN)	データベースの任意の領域など、特定の場所から検索するときに指定します。 Unicode（UTF-8）で表せる0～128文字以内で入力します。任意の属性で検索しないときは空白にします。 設定例：localのserverディレクトリー：dc=server,dc=local
検索件数上限数（5-500）	検索される数の上限を5～500以内で設定します。検索によって取得した、上限値までの件数を一時的に保存して表示します。上限値を超えると警告メッセージが表示されますが、検索は続行できます。
ユーザー名属性	登録名として検索するLDAPサーバーの属性名を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、uid
ユーザー表示名属性	表示名として表示する属性名を指定します。Unicode（UTF-8）で表せる0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：cn、sn
ファクス番号属性	ファクス番号の検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：facsimileTelephoneNumber
メールアドレス属性	メールアドレスを検索結果として表示する属性名を指定します。半角英数字、ハイフン、セミコロンを組み合わせ、1～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。 設定例：mail

アイテム	設定値と説明
任意情報属性1～任意情報属性4	LDAPサーバーにエンタリーしている他の任意属性を指定します。0～255文字以内で入力します。先頭はアルファベットのA～Z、a～zにしてください。任意属性でのデータ取得を行わない場合は空白にします。 設定例：o、ou

関連情報

➡ [「LDAPサーバーの検索属性を設定する」44ページ](#)

LDAPサーバーとの接続を確認する

1. Web Configで【ネットワーク設定】－【LDAPサーバー】－【接続確認】を選択します。

2. 【確認開始】をクリックします。

LDAPサーバーとの接続診断が開始されます。接続テストが終了すると結果が表示されます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」11ページ](#)

➡ [「LDAPサーバー接続確認結果」46ページ](#)

LDAPサーバー接続確認結果

メッセージ	説明
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。
接続に失敗しました。 設定を確認してください。	以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> LDAPサーバーアドレス、ポート番号などが間違っている 通信タイムアウトが発生した 【LDAPサーバーを使用する】が【使用しない】設定になっている 【認証方式】に【Kerberos認証】を選択した場合に、Kerberos設定の【Kerberosサーバーアドレス】、【Kerberosサーバーポート番号】、【Kerberosサーバーレルム(ドメイン)】の設定が間違っている
接続に失敗しました。 プリンター、またはサーバーの日付/時刻設定を確認してください。	プリンターとLDAPサーバーの時刻設定の不一致によって接続に失敗した場合に表示されます。
サーバーの認証に失敗しました。 設定を確認してください。	以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 【ユーザー名】または【パスワード】が間違っている 【認証方式】に【Kerberos認証】が選択されているとき、時刻設定されていない
プリンターが処理動作中のためアクセスできません。	プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

関連情報

➡ [「LDAPサーバーとの接続を確認する」46ページ](#)

メールサーバーを利用する

スキャンしたデータや受信ファックスをメールで送信したり、メール通知機能を利用したりする場合は、メールサーバーの設定が必要です。

メールサーバーを設定する

1. Web Configで「ネットワーク設定」－「メールサーバー」－「基本」を選択します。
2. 各項目を設定します。
3. 「設定」をクリックします。

設定結果が表示されます。

関連情報

- ➡ [「Web Configの起動」 11ページ](#)
- ➡ [「メールサーバー設定項目」 47ページ](#)

メールサーバー設定項目

The screenshot shows the Epson Web Config interface. On the left is a navigation menu with categories like 'Information Confirmation', 'Network Settings', and 'Basic Settings'. The 'Basic Settings' section is expanded, showing 'Email Server' and 'Basic' (selected). The main area displays the 'Network Settings > Email Server > Basic' configuration page. It includes fields for 'Authentication Method' (set to 'Authentication Required'), 'Authentication Account', 'Authentication Password', 'Return Address', 'SMTP Server Address', 'SMTP Server Port Number' (set to 25), 'POP3 Server Address', and 'POP3 Server Port Number'. A '設定' (Settings) button is at the bottom.

ネットワーク設定 > メールサーバー > 基本	
認証方式:	認証が必要
認証用アカウント:	
認証用パスワード:	
送信元アドレス:	
SMTPサーバーアドレス:	
SMTPサーバーポート番号:	25
POP3サーバーアドレス:	
POP3サーバーポート番号:	

設定

スキャンやファックスの宛先を設定する

アイテム	設定値と説明	
認証方式	プリンターがメールサーバーにアクセスする際の認証方式を指定します。	
	認証しない	メールサーバーとの通信時に認証を行いません。
	SMTP認証	メールサーバーがSMTP認証に対応している必要があります。
	POP before SMTP	選択した場合はPOP3サーバーの設定をしてください。
認証用アカウント	【認証方式】に【SMTP認証】または【POP before SMTP】を選択した場合、認証用のアカウント名をASCII (0x20-0x7E) で表せる0～255文字以内で入力します。	
認証用パスワード	【SMTP認証】に【POP before SMTP】または【認証方式】を選択した場合、認証用のパスワードをA-Z a-z 0-9 ! # \$ % & ' * + . - / = ? ^ _ { } ~ @ を使用し、0～20文字以内で入力します。	
送信元アドレス	送信元を示すメールアドレスを入力します。: () < > [] ; ¥ を除くASCII (0x20-0x7E) で表せる0～255文字以内で入力します。ただし、ピリオド (.) は先頭文字にできません。	
SMTPサーバーアドレス	A～Z a～z 0～9 . - を使用し、0～255文字以内で入力します。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
SMTPサーバー ポート番号	1～65535までの数字を入力します。	
POP3サーバーアドレス	【POP before SMTP】に【認証方式】を選択した場合、POP3サーバーアドレスをA～Z a～z 0～9 . - を使用して0～255文字以内で入力します。IPv4形式とFQDN形式での入力が可能です。	
POP3サーバー ポート番号	【POP before SMTP】に【認証方式】を選択した場合、1～65535までの数字入力を行います。	

関連情報

➡ [「メールサーバーを設定する」 47ページ](#)

メールサーバーとの接続を確認する

1. Web Configで【ネットワーク設定】 > 【メールサーバー】 > 【接続確認】を選択します。

2. 【確認開始】をクリックします。

メールサーバーとの接続診断が開始されます。接続テストが終了すると結果が表示されます。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」 11ページ](#)

➡ [「メールサーバー接続確認結果」 48ページ](#)

メールサーバー接続確認結果

メッセージ	説明
接続に成功しました。	サーバーとの接続に成功した場合に表示されます。

スキャンやファックスの宛先を設定する

メッセージ	説明
接続に失敗しました。 設定を確認してください。	以下の理由によってサーバーへの接続に失敗した場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none">• メールサーバーアドレス、ポート番号などの設定間違い• 通信タイムアウトが発生した
プリンターが処理動作中のためアクセス できません。	プリンターが動作中で接続設定ができなかったときに表示されます。

関連情報

➡ [「メールサーバーとの接続を確認する」48ページ](#)

利用者制限と管理者パスワードを設定する

利用者制限の概要

プリンターに最大で10人のユーザーを登録でき、それぞれのユーザーが利用できる機能を設定できます。ユーザーは操作パネル上でユーザーIDとパスワードを入力してログオンし、プリンターを使用します。作業が終了したらログオフします。また、一定時間パネル操作がないと自動でログオフされます。

プリンタードライバーやスキャナードライバーからの使用を制限したい場合は、その機種専用のドライバーを使ってください。

Windowsからプリンターを使用する場合、設定したユーザー名とパスワードをプリンタードライバーやスキャナードライバーに登録できます。登録すると、コンピューターからの利用時に自動でユーザー認証されるため、都度パスワードを入力する必要がありません。設定方法はドライバーのヘルプをご覧ください。

Mac OS Xではこの機能は使えません。

利用制限を設定する

1. Web Configで【利用者制限設定】－【基本】を選択する。

2. 【利用者制限を有効にする】にチェックを入れて【設定】をクリックします。

！重要 【認証情報の無い印刷/スキャンを許可する】のチェックを外すと、以下から送られる認証情報のないジョブは受け付けられません。

- OS標準搭載のドライバー
- PostScript プリンタードライバー
- Epson ConnectやGoogle クラウド プリントなどのWebサービス
- スマートデバイス



3. 【利用者制限設定】－【ユーザー設定】を選択します。

4. 【登録】をクリックし、各項目を設定します。

5. 【適用】をクリックします。

参考 既に登録されているユーザーを編集する場合は、【削除】が表示されます。クリックすると登録ユーザーを削除できます。

EpsonNet Configは利用者制限のリストをインポートしたりエクスポートしたりできます。詳細はEpsonNet Configのヘルプやマニュアルをご覧ください。

関連情報

- ➡ [「Web Configの起動」 11ページ](#)
- ➡ [「利用制限設定項目」 52ページ](#)

利用制限設定項目

アイテム	設定値と説明
ユーザー名	ユーザー一覧への表示名をASCII (0x20-0x7E) で表せる1～14文字以内で入力します。
パスワード	ASCII (0x20-0x7E)で表せる0～20文字以内で入力します。パスワードを初期化する場合、空白のままにします。
以下の機能の使用を許可する。	チェックされた機能の利用が許可されます。

関連情報

➔ [「利用制限を設定する」50ページ](#)

管理者パスワードを設定する

管理者パスワードを設定すると、利用者がプリンターの設定を変更できなくなります。

1. Web Configで「管理者設定」－「管理者パスワード変更」を選択します。

利用者制限と管理者パスワードを設定する

2. 「新しいパスワード」と「新しいパスワードの確認」にパスワードを入力します。

パスワードを変更するには、現在のパスワードを入力します。

The screenshot shows the Epson Web Config interface. On the left, a sidebar lists various settings categories: Information Confirmation, Printer Information, Network Information, Maintenance Information, Address Book, User Default Settings, User Restrictions Settings, Printer Settings, Network Settings, Network Security Settings, System Settings, and Administrator Settings. Under Administrator Settings, 'Change Administrator Password' is selected. The main content area is titled 'Administrator Settings > Change Administrator Password'. It contains three input fields: 'Current Password', 'New Password', and 'Confirm New Password'. The 'New Password' field has a hint: '半角英数字1～20文字を入力' (Enter 1 to 20 alphanumeric characters). A blue rectangular box highlights the 'New Password' and 'Confirm New Password' fields. Below the fields is a '設定' (Settings) button.

3. 「設定」をクリックします。

参考

設定したパスワードはWeb ConfigやEpsonNet Config、プリンターの操作パネルで共有されます。

管理者のパスワードを忘れてしまったときは、弊社お問い合わせ先にご連絡ください。詳しくは、プリンターのマニュアルをご覧ください。

関連情報

➡ [「Web Configの起動」11ページ](#)

トラブルを解決する

トラブルを解決するための情報

本書に記載されていないプリンターに関する情報は以下のマニュアル類をご覧ください。

- ユーザーズガイド/操作ガイド
プリンターをコンピューターから使う方法やインクカートリッジの交換方法、トラブルの解決方法が記載されています。
- ネットワークガイド
プリンターのネットワーク接続設定やトラブルの解決方法が記載されています。
- Epson Connectポータルページ
<https://www.epsonconnect.com/>
Epson Connectサービスの説明や設定方法、トラブルの解決方法などの情報があります。

ソフトウェア使用時のトラブル

Web Configにアクセスできない

プリンターにIPアドレスを設定していますか？

EpsonNet Configまたはプリンターの操作パネルでIPアドレスを設定してください。現在の設定は、ネットワークステータスシートやプリンターの操作パネルで確認できます。

SSL/TLSの暗号強度が【高い】になっていませんか？

【暗号強度】を【高い】に設定すると、AES（256ビット）または3DES（168ビット）をサポートしているブラウザでないとWeb Configを起動できません。ブラウザの暗号強度の対応ビットをご確認ください。

Web ConfigにSSL通信（https）で接続したときに「有効期限が切れている」と表示されましたか？

証明書の有効期限が切れていたら証明書を取得し直してください。証明書の有効期限内に表示されるときは、プリンターの時刻が正しく設定されているか確認してください。

Web ConfigにSSL通信（https）で接続したときに「セキュリティ証明書の名前が一致しません....」と表示されましたか？

自己署名証明書またはCSRの作成時に【コモンネーム】で記述したアドレスとブラウザに入力したアドレスが一致していません。証明書を取得し直すか、プリンター名を変更してください。

プリンターをプロキシサーバー経由で使用していますか？

プリンターでプロキシサーバーを使用する設定にしている場合、ブラウザのプロキシサーバーの設定が必要です。

- Windows：
【コントロールパネル】－【ネットワークとインターネット】－【インターネットオプション】－【接続】－【LANの設定】の【プロキシサーバー】で、ローカルアドレスにプロキシサーバーを使わない設定にします。

- Mac OS X :
[システム環境設定] - [ネットワーク] - [詳細] - [プロキシ] で [プロキシ設定を使用しないホストとドメイン] にローカルアドレスを登録します。
設定例：
ローカルアドレス192.168.1.XXX、サブネットマスク255.255.255.0 の場合：192.168.1.*
ローカルアドレス192.168.XXX.XXX、サブネットマスク255.255.0.0 の場合：192.168.*.*

関連情報

➔ [「Web Configの起動」 11ページ](#)

EpsonNet Configで製品名やIPアドレスが表示されない

Windowsセキュリティの重要な警告画面やファイアウォールソフトが表示した画面で、[ブロックする]、[キャンセル] や [遮断する] を選択しましたか？

[ブロックする]、[キャンセル] や [遮断する] を選択すると通信ができなくなるため、EpsonNet Config または EpsonNet Setupで製品名が表示されません。

通信を可能にするには、Windowsファイアウォールや市販のセキュリティソフトでEpsonNet Configを例外アプリケーションとして登録してください。それでも表示できないときは、市販のセキュリティソフトを終了してからEpsonNet Configを再度起動してください。

通信エラーのタイムアウトが短い設定になっていませんか？

EpsonNet Configの [ツール] - [オプション] - [タイムアウト] で、[通信エラー] とする時間を大きい値に変更してみてください。ただし、検索に時間がかかるためEpsonNet Configの動作は遅くなります。

関連情報

- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Windows」 13ページ](#)
- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Mac OS X」 13ページ](#)

セキュア環境への接続時のトラブル

事前共有キーを忘れてしまった

Web Configでキーを設定し直してください。

Web Configの [ネットワークのセキュリティ設定] - [IPsec/IPフィルタリング] - [基本ポリシー] または [個別ポリシー] の画面でキーを変更します。

IPsec通信ができない

コンピューターの設定でプリンターがサポートしていないアルゴリズムを指定していませんか？

プリンターがサポートするアルゴリズムは以下の通りです。

セキュリティメソッド	アルゴリズム
暗号化アルゴリズム	AES-CBC 128
	AES-CBC 192
	AES-CBC 256
	3DES-CBC
	DES-CBC
ハッシュアルゴリズム	SHA-1
	SHA2-256
	SHA2-384
	SHA2-512
	MD5
キー交換アルゴリズム	Diffie-Hellman Group2
	Diffie-Hellman Group1*, Diffie-Hellman Group14*, Elliptic Curve Diffie-Hellman P-256*, Elliptic Curve Diffie-Hellman P-384*

*：対応していないプリンターがあります。

関連情報

➡ [「IPsec/IPフィルタリングを設定する」19ページ](#)

突然通信ができなくなった

プリンターのIPアドレスが変更または使用不可になっていませんか？

プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。

Web Configの「ネットワークのセキュリティ設定」－「IPsec/IPフィルタリング」－「個別ポリシー」－「ローカルアドレス（プリンター）」に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

固定のIPアドレスを使用してください。

コンピューターのIP アドレスが変更または使用不可になっていませんか？

プリンターの操作パネルでIPsecを無効にしてください。

Web Configの「ネットワークのセキュリティ設定」－「IPsec/IPフィルタリング」－「個別ポリシー」－「リモートアドレス（ホスト）」に設定したIPアドレスが、DHCPのリース切れや再起動、IPv6アドレスの有効期限切れや再取得失敗によって見つからない可能性があります。

固定のIPアドレスを使用してください。

関連情報

➡ [「IPsec/IPフィルタリングを設定する」19ページ](#)

セキュアIPP印刷のポートが作成できない

正しい証明書をSSL/TLSのサーバー証明書に指定しましたか？

正しい証明書が指定されていないとポート作成に失敗する場合があります。証明書が正しいか確認してください。

プリンターを使用するコンピューターにCA証明書がインポートされていますか？

コンピューターにCA証明書がインポートされていないと、ポート作成に失敗する場合があります。CA証明書がインポートされているか確認してください。

関連情報

➡ [「IPsec/IPフィルタリングを設定する」19ページ](#)

IEEE802.1Xを設定したのにつながらない

設定が間違っている可能性があります。

プリンターの操作パネルからIEEE802.1Xと無線LANを無効にしてください。プリンターとコンピューターを接続して、IEEE802.1Xの設定をやり直してください。

関連情報

➡ [「IEEE802.1Xを設定する」29ページ](#)

電子証明書使用時のトラブル

CA署名証明書のインポートができない

入手したCA 署名証明書と作成したCSRの情報が一致していますか？

CA署名証明書とCSRは、同一の情報を有していないとインポートできません。以下の点を確認してください。

- 同時に複数の機器でCSRを作成した場合、一致しない機器に証明書をインポートしようとしていませんか？
情報を確認して、一致する機器にインポートしてください
- CA局にCSRを送付した後、プリンターに保存されているCSRを再生成しましたか？
再生成したCSRでCA署名証明書を取得し直してください。

入手したCA署名証明書のファイル容量が5KBを超えていませんか？

5KBを超えるCA署名証明書は、インポートできません。

証明書をインポートする際のパスワードは正しいですか？

パスワードを忘れた場合、証明書をインポートできません。

関連情報

➡ [「CA署名証明書をインポートする」35ページ](#)

自己署名証明書が更新できない

コモンネームが未入力ではありませんか？

【コモンネーム】は必ず入力してください。

コモンネームに入力可能な文字以外（例：日本語）を入力していませんか？

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる1～128文字以内で指定します。

コモンネームにカンマやスペースを使用していませんか？

カンマが入力されると【コモンネーム】はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ [「自己署名証明書を更新する」37ページ](#)

CSRが作成できない

コモンネームが未入力ではありませんか？

【コモンネーム】は必ず入力してください。

コモンネーム、組織名、部署名、市町村名、都道府県名に入力可能な文字以外を入力していませんか？例えば日本語は使えません。

IPv4、IPv6、ホスト名、FQDNのいずれかの形式をASCII (0x20-0x7E)で表せる文字で指定します。

コモンネームにカンマやスペースを使用していませんか？

カンマが入力されると【コモンネーム】はそこで分割されます。また、カンマの前後にスペースを入れるとエラーになります。

関連情報

➡ [「CA署名証明書を取得する」33ページ](#)

証明書に関する警告が表示された

メッセージ	原因と対処
サーバー証明書を指定してください。	原因： インポートするファイルが指定されていません。 対処： ファイルを選択してから【インポート】をクリックしてください。
CA証明書1の参照先を入力してください。	原因： CA証明書1が未入力で、CA証明書2のみ入力されています。 対処： 先にCA証明書1をインポートしてください。

トラブルを解決する

メッセージ	原因と対処
以下の入力値が正しくありません。	<p>原因： ファイルパスやパスワードに不正な文字が含まれています。</p> <p>対処： 表示された項目に入力した文字が正しいか確認してください。</p>
日付/時刻が設定されていません。	<p>原因： プリンターに日付や時刻が設定されていません。</p> <p>対処： Web ConfigやEpsonNet Configまたはプリンターの操作パネルから日付や時刻を設定してください。</p>
パスワードが正しくありません。	<p>原因： CA証明書に設定されているパスワードと入力したパスワードが一致しません。</p> <p>対処： 正しいパスワードを入力してください。</p>
不正なファイルです。	<p>原因： インポートしようとしたファイルがX509形式の証明書ではありません。</p> <p>対処： 信頼されたCA局から送付された証明書ファイルを選択しているか確認してください。</p>
	<p>原因： インポートできるファイルサイズを超えています。インポートできるファイルサイズは5KBまでです。</p> <p>対処： ファイルが正しい場合、証明書が破損していたり改ざんされていたりする可能性があります。</p>
	<p>原因： 証明書に含まれるチェーンが不正です。</p> <p>対処： 証明書の詳細はCA局のWebサイトをご覧ください。</p>
3つ以上のCA証明書が含まれたサーバー証明書は使用できません。	<p>原因： PKCS#12形式の証明書ファイルに3つ以上のCA証明書が含まれています。</p> <p>対処： PKCS#12形式から複数のPEM形式に変換して個別にインポートするか、2つ以下のCA証明書でPKCS#12形式ファイルを再作成してインポートしてください。</p>
有効期間外の証明書です。証明書の有効期間、またはプリンターの日付/時刻設定を確認してください。	<p>原因： 証明書の有効期限が切れています。</p> <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> 証明書の有効期限が切れている場合、新しい証明書をCA局から取得してインポートしてください。 証明書の有効期限が切れていない場合、プリンターの日付や時刻の設定が正しいか確認してください。

メッセージ	原因と対処
秘密鍵が必要な証明書ファイルです。	<p>原因： 証明書と対になった秘密鍵がありません。</p> <p>対処：</p> <ul style="list-style-type: none"> • コンピューターで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書の場合、秘密鍵ファイルを指定してください。 • コンピューターで生成したCSRで取得したPKCS#12形式の証明書の場合、秘密鍵を含めたファイルを作成してください。
	<p>原因： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書を再度インポートしようとした。</p> <p>対処： Web Configで生成したCSRで取得したPEM/DER形式の証明書は、一度しかインポートできません。</p>
設定に失敗しました。	<p>原因： プリンターとコンピューターの通信が遮断された、何らかの原因でファイルが読み取りできない、などの原因で正しく設定できませんでした。</p> <p>対処： 指定しているファイルや通信状況を確認して、再度インポートしてください。</p>

関連情報

➔ [「プリンターで利用できる電子証明書」 32ページ](#)

CA署名証明書を誤って削除した

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがありますか？

CA署名証明書をバックアップ保存したファイルがあれば、それを使って再度インポートしてください。

Web Configで生成したCSRで取得した証明書は、一度削除してしまうと再インポートができません。CSRを再生成して証明書を取得し直してください。

関連情報

➔ [「CA署名証明書を削除する」 36ページ](#)

印刷時のトラブル

AirPrintで印刷できない

AirPrintが無効になっていませんか？

AirPrintを有効にするには、Web Configの [AirPrint設定] 画面で、 [AirPrintを有効にする] をクリックしてください。

意味不明の文字が大量に印刷された

印刷ポートの設定は適切ですか？

プリントサーバーにインストールされているドライバーの印刷ポートとプリンターが一致しているか確認してください。

関連情報

➡ [「プリンターの共有設定をする - Windows」 70ページ](#)

付録

イベント発生時にメール通知を受け取る

メール通知の概要

メール通知とは、用紙切れなどのイベントが発生したときにメールを受け取る機能です。メールアドレスは5つまで登録でき、それぞれに受け取りたいイベントを設定できます。

メール通知を設定する

この機能を利用するにはメールサーバーの設定が必要です。

1. Web Configで【管理者設定】－【メール通知】を選択します。
2. メールを受け取る送信先のメールアドレスを入力します。
3. メール通知の言語を選択します。
4. 通知を受け取りたいイベントをチェックします。

EPSON

情報確認

[プリンター情報](#)
[ネットワーク情報](#)
[メンテナンス情報](#)

アドレス帳

☑ ユーザーデフォルト設定

☑ 利用者制限設定

☑ プリンター設定

☑ ネットワーク設定

☑ ネットワークのセキュリティー設定

☑ システム設定

☑ 管理者設定

[管理者パスワード変更](#)
[管理者名/連絡先](#)
[メール通知](#)

基本設定

Epson Connect設定

Google クラウド プリント設定

DNSプロキシ

ファームウェアアップデート

ルート証明書更新

AirPrint設定

Wi-Fi Direct設定

プリンター情報確認

管理者設定 > メール通知

メール通知を使用するには事前にメールサーバー設定を行ってください。

宛先設定

設定された宛先に、選択した言語のメールを送信します。

1:	<input type="text" value="@"/>	日本語
2:	<input type="text" value="@"/>	日本語
3:	<input type="text" value="@"/>	英語
4:	<input type="text"/>	日本語
5:	<input type="text"/>	日本語

通知設定

チェックを付けた項目の状態のときにメールを送信します。

	1	2	3	4	5
インク残量限界値以下	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
インク残量少	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
メンテナンスボックス空き容量なし	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
メンテナンスボックス空き容量少	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
用紙なし	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
印刷停止(※)	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
プリンターエラー	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スキャナーエラー	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
ファクスエラー	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
管理者パスワード変更	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※ 紙詰まり、用紙力セットなし、用紙サイズ/種類不一致などが発生したときにメールを送信します。

設定

購入時の設定に戻す

62

5. **【設定】** をクリックします。

関連情報


- ➔ [「Web Configの起動」 11ページ](#)
- ➔ [「メールサーバーを利用する」 47ページ](#)

個別にプリンターのネットワーク設定をする

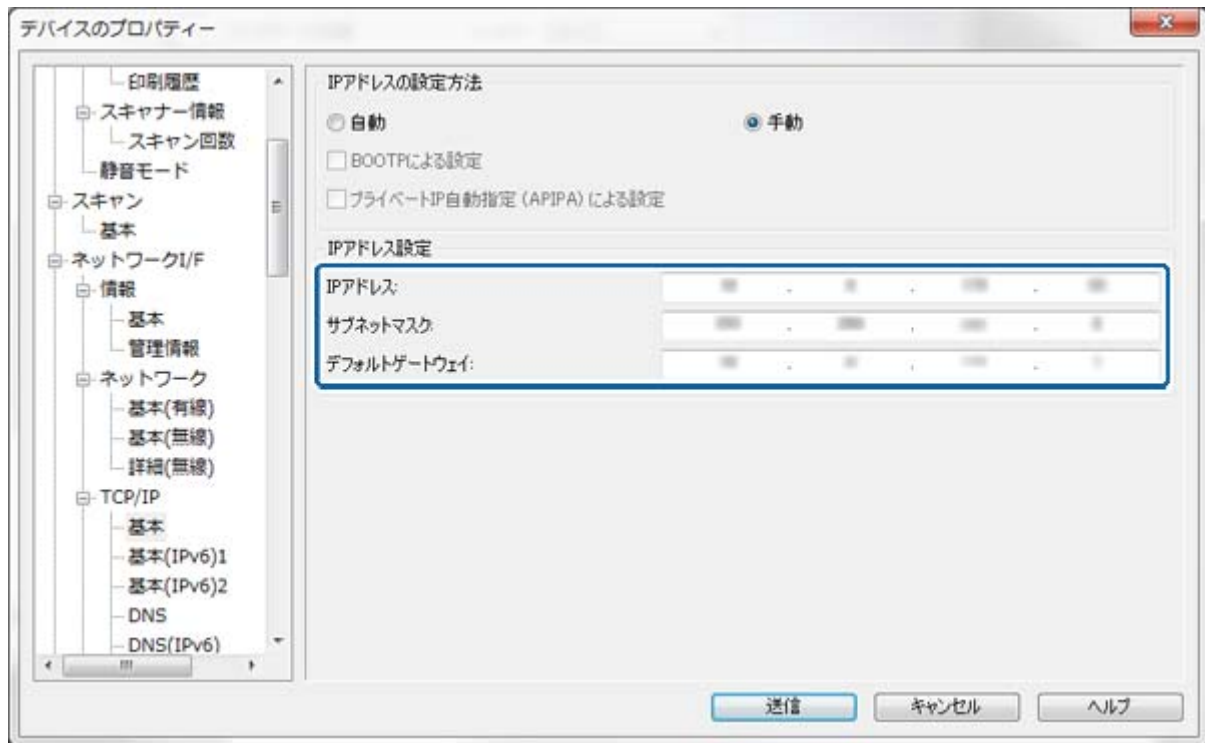
プリンターのネットワーク設定を個別に行いたい場合は、プリンターに付属のソフトウェアディスクのインストーラーやWeb上のSetup Naviを使ってください。詳細はプリンターのマニュアルをご覧ください。

ネットワークインターフェイスを設定する - 有線LAN

EpsonNet ConfigでネットワークインターフェイスのIP アドレスを設定します。

1. プリンターの電源を入れます。
2. LANケーブルでプリンターをネットワークに接続します。
3. EpsonNet Configを起動します。
ネットワーク上のプリンターが一覧表示されます。表示に時間がかかることがあります。
4. 設定するプリンターをダブルクリックします。
 同じ製品名のプリンターを複数台接続した場合は、MACアドレスで識別できます。
5. 左のメニューから **【ネットワークI/F】** - **【TCP/IP】** - **【基本】** を選択します。

6. [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ]を設定します。



参考

- セキュアなネットワークにプリンターを接続する場合は、固定アドレスを設定してください。
- 続けて [TCP/IP] メニューでは、[DNS] でDNSの設定と [インターネット] でプロキシサーバーの設定もできます。

7. [送信] をクリックします。

関連情報

- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Windows」 13ページ](#)
- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Mac OS X」 13ページ](#)

ネットワークインターフェイスを設定する - 無線LAN

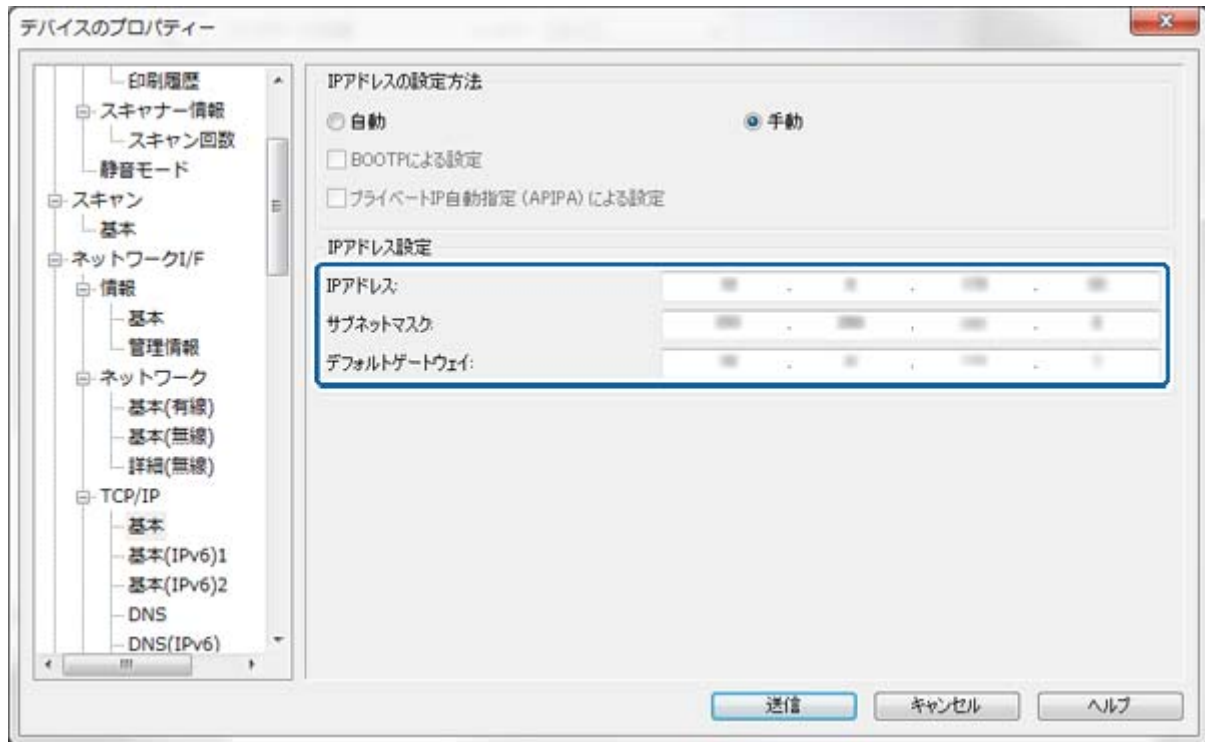
EpsonNet ConfigでネットワークインターフェイスのIP アドレスを設定します。

1. プリンターの電源を入れます。
2. 一時的にLANケーブルでプリンターをネットワークに接続します。
3. EpsonNet Configを起動します。
ネットワーク上のプリンターが一覧表示されます。表示に時間がかかることがあります。
4. 設定するプリンターをダブルクリックします。

参考

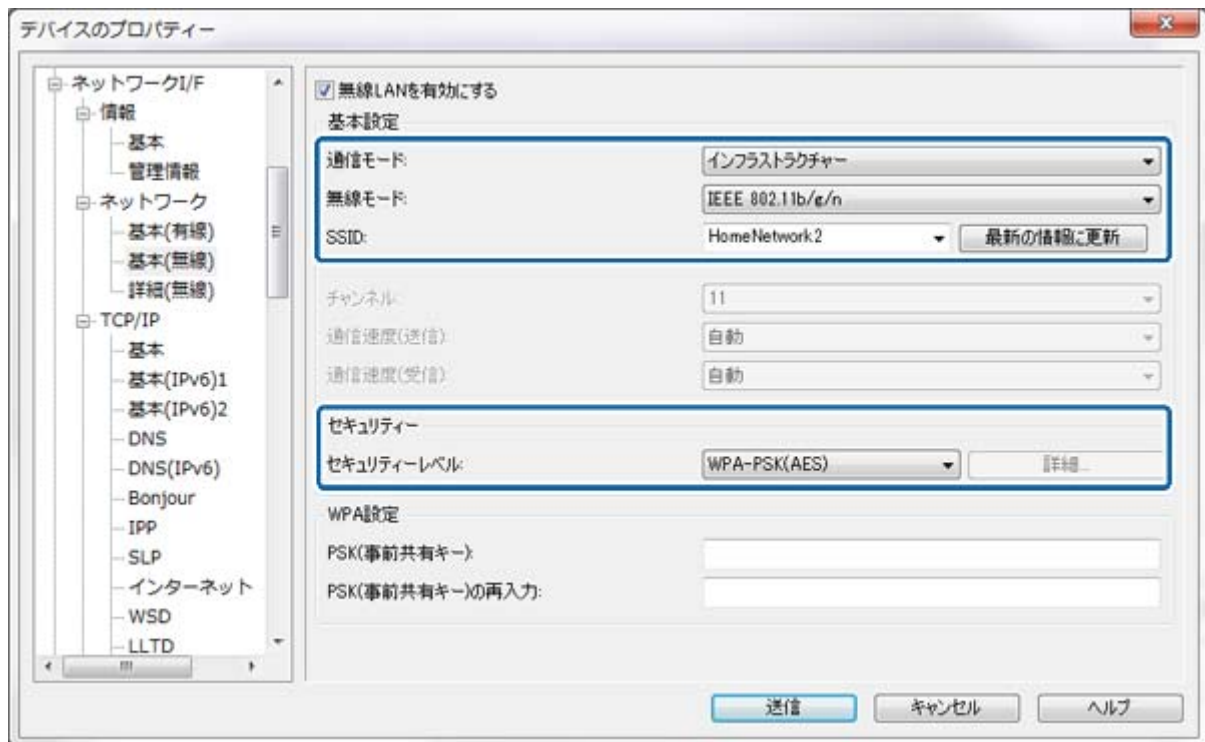
同じ製品名のプリンターを複数台接続した場合は、MACアドレスで識別できます。

5. 左のメニューから [ネットワークI/F] - [TCP/IP] - [基本] を選択します。
6. [IPアドレス]、[サブネットマスク]、[デフォルトゲートウェイ] を設定します。



- 参考**
- セキュアなネットワークにプリンターを接続する場合は、固定アドレスを設定してください。
 - 続けて [TCP/IP] メニューでは、[DNS] でDNSの設定と [インターネット] でプロキシサーバーの設定もできます。

7. [ネットワークI/F] - [ネットワーク] - [基本(無線)] を選択し、通信モードやSSID、セキュリティなどを設定します。



8. [送信] をクリックします。

LANケーブルは、プリンターとの接続が無線LANになったことを確認してから抜いてください。

関連情報

- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Windows」 13ページ](#)
- ➔ [「EpsonNet Configの起動 - Mac OS X」 13ページ](#)

プリンターを接続するコンピューターの設定

プリンタードライバーをインストールする - Windows

コンピューターから印刷できるように、プリンタードライバーをインストールして印刷ポートを作成します。PostScript 対応のプリンターで、エプソンのPostScript プリンタードライバーをインストールする場合は、プリンターのマニュアルをご覧ください。

1. プリンターの電源を入れます。
2. プリンタードライバーをコンピューターにインストールします。
プリンタードライバーはプリンターに付属のソフトウェアディスクに収録されています。
 - 32ビット版Windows：¥Driver¥Printer¥Driver¥WINX86¥setup
 - 64ビット版Windows：¥Driver¥Printer¥Driver¥WINX64¥setup

Setup.exeまたはSetup64.exeをダブルクリックするとドライバーのインストールが開始されます。画面の指示に従ってインストールしてください。

参考 付属のソフトウェアディスクが無い場合や、コンピューターにディスクドライブが無い場合は、エプソンのホームページからダウンロードしてください。

関連情報

- ➡ [「ネットワークインターフェイスを設定する - 有線LAN」 63ページ](#)
- ➡ [「ネットワークインターフェイスを設定する - 無線LAN」 64ページ](#)
- ➡ [「利用者制限と管理者パスワードを設定する」 50ページ](#)
- ➡ [「プリンターの共有設定をする - Windows」 70ページ](#)

プリンタードライバーをインストールする - Mac OS X

コンピューターへのプリンター追加と、インターネット経由でプリンタードライバーのインストールをします。インターネットに接続できる環境でインストールを始めてください。

PostScript 対応のプリンターで、エプソンのPostScript プリンタードライバーをインストールする場合は、プリンターのマニュアルをご覧ください。

1. プリンターの電源を入れます。
2. [システム環境設定] - [プリントとスキャン] を開きます。
3. [+] - [プリンタまたはスキャナを追加] を選択します。
4. [デフォルト] が選択されていることを確認し、リストから追加したいプリンターを選択します。
5. [ドライバ] に機種名を指定して、[追加] を選択します。

プリンタードライバーが自動でダウンロードされ、プリンターが追加されます。

参考

- プリンタードライバーのダウンロードが開始されない場合は、エプソンのホームページからダウンロードしてください。なお、Mac OS X v10.5.8をお使いの場合は自動でダウンロードされないため、エプソンのホームページからダウンロードしてください。
- ドライバーに [AirPrint] や [Secure AirPrint] と付いたドライバーを指定すると、プリンタードライバーはインストールされません。

関連情報

- ➡ [「ネットワークインターフェイスを設定する - 有線LAN」 63ページ](#)
- ➡ [「ネットワークインターフェイスを設定する - 無線LAN」 64ページ](#)

スキャナーをネットワークで使う

コンピューターにスキャナードライバーをインストールして、ネットワーク上のスキャナーを使えるようにします。

1. EPSON Scanをインストールします。
 - Windows：プリンターに付属のソフトウェアディスクに収録されています。
¥Driver¥Scanner¥Driver

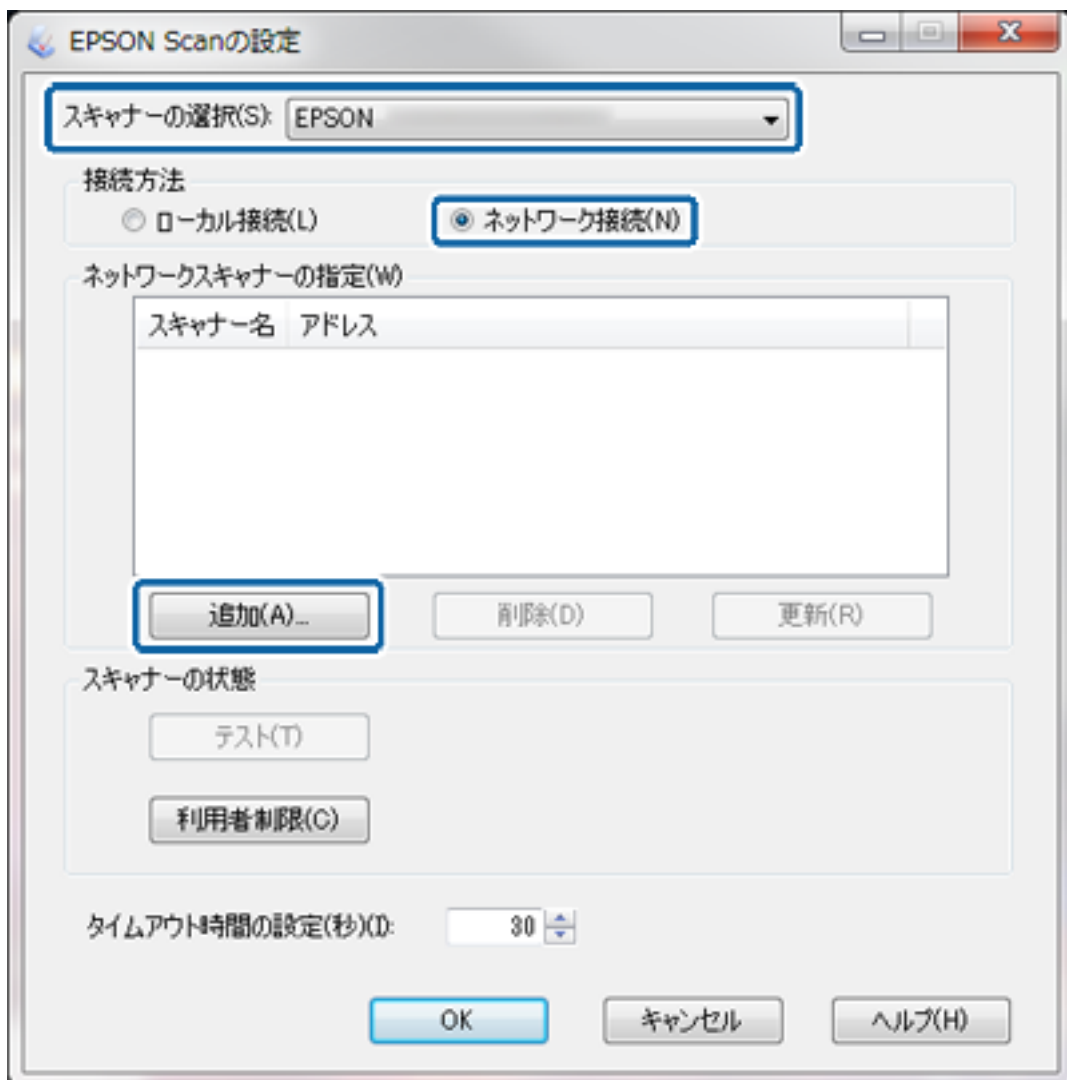
- 参考**
- Windows Server 2008をお使いの場合は、EPSON Scanのインストールをする前にデスクトップエクスペリエンスをOSに追加インストールしてください。
 - ソフトウェアディスクが無い場合や、コンピュータにディスクドライブが無い場合はエプソンのホームページからダウンロードしてください。

- Mac OS X : EPSON ScanはEPSON Software Updater、またはエプソンのホームページからダウンロードしてインストールしてください。

2. EPSON Scanの設定を起動します。

- Windows: [すべてのプログラム] - [EPSON] - [EPSON Scan] - [EPSON Scanの設定] をクリックします。
- Mac OS X: [移動] - [アプリケーション] - [Epson Software] - [EPSON Scanの設定] をクリックします。

3. [スキャナーの選択] から目的のスキャナーを選択し、[接続方法] を[ネットワーク接続] にして、[追加] をクリックします。



[追加] 画面が表示され、スキャナーが検索されます。

4. スキャナーのIPアドレスをクリックして [OK] をクリックします。

参考 ルーターを越えた場所（別セグメント）にあるスキャナーは検索できません。

5. IP アドレスを選択して [テスト] をクリックします。

スキャナーとコンピューターが正しく接続されると、接続テスト成功のメッセージが表示されます。

6. [OK] をクリックします。

関連情報

➡ [「利用者制限と管理者パスワードを設定する」50ページ](#)

外部メモリーをネットワークドライブとして共有する

外部メモリーをネットワークドライブとして共有する - Windows

1. 共有したい外部メモリーを持つプリンター名またはIPアドレスを確認します。
Web ConfigやEpsonNet Config、プリンターの操作パネルから確認できます。
2. [ファイル名を指定して実行] を選択します。
3. [名前] に確認したプリンター名を以下の書式で入力し、[OK] をクリックします。
¥¥（プリンター名）、または¥¥XXX.XXX.XXX.XXX（プリンターのIPアドレス）
4. [memorycard] または [usbstorage] アイコンを右クリックして、[ネットワークドライブの割り当て] をクリックします。
5. 必要に応じて [ドライブ] リストから、割り当てたいドライブ名を選択します。

参考 コンピューターを起動する度にネットワークストレージを使用するときは、[ログオン時に再接続] をチェックしてください。

6. [完了] をクリックします。

割り当てたネットワークドライブは、[マイコンピューター]（または[コンピューター]）内にハードディスクなどと同様に表示されます。

外部メモリーをネットワークドライブとして共有する - Mac OS X

1. [移動] - [サーバへ接続...] を選択します。
2. [サーバアドレス] 欄に確認したプリンター名を以下の書式で入力します。

cifs://（プリンター名）、または

smb://（プリンター名）

3. **【接続】** をクリックします。

参考 プリンターから外部メモリーを取り出すときは、デスクトップにあるメモリーカードドライブアイコンなどをゴミ箱にドラッグアンドドロップしてください。ゴミ箱にドラッグアンドドロップしてから取り出さないと、別の外部メモリーをセットしたときに、共有ドライブの内容が正常に表示されないことがあります。

プリンターの共有設定をする - Windows

プリンターを共有する

プリンターを接続しているコンピューターをプリントサーバーとして利用する場合は、プリントサーバーにするコンピューターからプリンターの共有設定してください。

1. **【コントロールパネル】** - **【デバイスとプリンター】** を開きます。
2. プリンターアイコンを右クリックし、**【プリンターのプロパティ】** - **【共有】** タブを選択します。
3. **【このプリンターを共有する】** を選択して、**【共有名】** を入力します。
Windows Server 2012をお使いの場合は、**【共有オプションの変更】** をクリックしてから設定してください。

関連情報

➡ [「追加ドライバーをインストールする」70ページ](#)

追加ドライバーをインストールする

プリントサーバーのコンピューターとクライアントが異なるバージョンのWindowsで動作している場合、それぞれのバージョンのプリンタードライバーをプリントサーバーのコンピューターにインストールしておくと、クライアントコンピューターからドライバーを検索する必要がなくなります。

1. **【コントロールパネル】** - **【デバイスとプリンター】** を開きます。
2. 共有したいプリンターアイコンを右クリックし、**【プリンターのプロパティ】** - **【共有】** タブを選択します。
3. **【追加ドライバー】** をインストールする

参考 Windows Server 2012をお使いの場合は、**【共有オプションの変更】** をクリックしてから設定してください。

4. クライアントのWindowsバージョン（OSタイプ）を選択して、**【OK】** をクリックします。

関連情報

➡ [「共有プリンターを使う」71ページ](#)

共有プリンターを使う

共有プリンターを使う - Windows

プリンターの管理者は、クライアントコンピューターへのプリンター追加手順としてプリンターサーバーに設定したコンピューター名をクライアントに連絡してください。

以下は、プリンターサーバーに追加ドライバーが設定されている場合の手順です。

1. プリンターサーバーのコンピューター名を【エクスプローラー】で開きます。
2. 利用したいプリンターをダブルクリックします。

参考 追加ドライバーが設定されていない環境では、【デバイスとプリンター】からプリンターを追加する手順を案内してください。

関連情報

- ➡ [「プリンターを共有する」70ページ](#)
- ➡ [「追加ドライバーをインストールする」70ページ](#)

共有プリンターを使う - Mac OS X

コンピューターへのプリンター追加と、インターネット経由でプリンタードライバーのインストールをします。インターネットに接続できる環境でインストールを始めてください。

PostScript 対応のプリンターで、エプソンのPostScript プリンタードライバーをインストールする場合は、プリンターのマニュアルをご覧ください。

1. プリンターの電源を入れます。
2. 【システム環境設定】－【プリントとスキャン】を開きます。
3. 【+】－【プリンタまたはスキャナを追加】を選択します。
4. 【デフォルト】が選択されていることを確認し、リストから追加したいプリンターを選択します。
5. 【ドライバ】に機種名を指定して、【追加】を選択します。

プリンタードライバーが自動でダウンロードされ、プリンターが追加されます。

- 参考**
- プリンタードライバーのダウンロードが開始されない場合は、エプソンのホームページからダウンロードしてください。なお、Mac OS X v10.5.8をお使いの場合は自動でダウンロードされないため、エプソンのホームページからダウンロードしてください。
 - ドライバに【AirPrint】や【Secure AirPrint】と付いたドライバーを指定すると、プリンタードライバーはインストールされません。